

提出議題

議決事項

第一号議案	令和4年度	決算報告（案）及び監査報告	別冊
第二号議案		公益社団法人山口県看護協会定款の一部改正（案）	10
第三号議案	令和5年度	改選役員及び推薦委員の選出	11
第四号議案	令和6年度	日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出	12

報告事項

報告事項1	令和4年度	事業報告	13
報告事項2	令和5年度	事業計画	76
報告事項3	令和5年度	収支予算書	別冊

第一号議案 令和4年度 決算報告（案）及び監査報告

（別 冊）

第二号議案 公益社団法人山口県看護協会定款の一部改正（案）

災害その他やむを得ない事由により、役員を選出が困難となる場合に対応するため、次のとおり公益社団法人山口県看護協会定款の一部を改正する。

現 行	改正案
<p>(役員任期)</p> <p>第32条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。ただし、選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて引き続き在任することができない。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、理事は、会長、副会長、専務理事及び常務理事として、同一職に引続き就任するときは、就任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時まで引き続き在任することができる。</p>	<p>(役員任期)</p> <p>第32条 同左</p> <p>2 同左</p> <p><u>ただし、災害その他やむを得ない事由により、特に業務上必要がある場合には、その最初の選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までを任期とすることができる。</u></p> <p>附 則</p> <p>1 この改正定款は、総会の承認を得たときから施行する。</p> <p>2 第32条の役員任期の改正は、現任の役員から適用する。</p>

第三号議案 令和5年度 改選役員及び推薦委員の選出

役員・推薦委員の任期満了に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和5年度 役員候補者

役 職	氏 名	任 期	所 属	職 種
会 長	西 生 敏 代	2	山口県看護協会	保健師
第二副会長	渡 邊 洋 子	2	山口県看護協会	保健師
専務理事	酒 井 恵 子	2	山口県看護協会	保健師
常務理事	藤 谷 圭 子	2	山口県看護協会	助産師
	小 阪 マリ子	2	徳山中央病院	看護師
理 事	安 池 まさみ	2	光市福祉保健部高齢者支援課	保健師
	露 繁 巧 江	2	萩慈生病院	看護師
	鈴 川 実 紀	2	安岡病院	准看護師
	浜 佳 恵	2	岩国市医療センター医師会病院	看護師
	田 山 千 里	2	周東総合病院	看護師
	花 島 まり	2	長門総合病院	看護師
監 事	原 田 美 佐	2	山口大学医学部附属病院	看護師

○令和5年度 推薦委員候補者

委員名	氏 名	任 期	所 属	職 種
推薦委員	橋 本 佳 子	1	山口健康福祉センター	保健師
	丸 山 美寿恵	1	柳井市高齢者支援課	保健師
	吉 本 美 恵	1	YIC 看護福祉専門学校	助産師
	田 村 知 美	1	山口県済生会豊浦病院	助産師
	徳 永 洋 子	1	小郡第一総合病院	看護師
	山 本 純 子	1	光総合病院	看護師
	笹 尾 千 春	1	山陽小野田市民病院	看護師

第四号議案 令和6年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

山口県看護協会の定数は各10人であるので、代議員10人と予備代議員10人の選出について提案する。

なお、予備代議員は、代議員が欠けた場合、代議員の員数を欠くことになる場合、これに充てることとし、代議員は、令和6年度日本看護協会総会で議決権を行使する。

○令和6年度 日本看護協会代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	西 生 敏 代	保健師	山口県看護協会
2	渡 邊 洋 子	保健師	山口県看護協会
3	小 西 恵	助産師	済生会豊浦病院
4	小 阪 マリ子	看護師	徳山中央病院
5	鈴 川 実 紀	准看護師	安岡病院
6	浜 佳 恵	看護師	岩国市医療センター医師会病院
7	田 山 千 里	看護師	周東総合病院
8	杉 山 真 弓	看護師	防府リハビリテーション病院
9	花 島 ま り	看護師	長門総合病院
10	原 田 美 佐	看護師	山口大学医学部附属病院

○令和6年度 日本看護協会予備代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	折 込 沙 世	看護師	小郡第一総合病院
2	姫 井 由 佳	助産師	山陽小野田市民病院
3	門 脇 幹	准看護師	宇部リハビリテーション病院
4	山 本 美 紀	看護師	徳山医師会病院
5	口 羽 理 恵	看護師	山口リハビリテーション病院
6	牟 田 薫	看護師	山口県立こころの医療センター
7	土 井 直 子	看護師	小野田赤十字病院
8	田 中 好 江	保健師	萩市地域包括支援センター
9	小 山 重 弥	看護師	よしみず病院
10	軍 神 弘 美	看護師	安岡病院

報告事項 1 令和4年度 事業報告

○令和4年度重点方針5項目の概要

I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

子ども・子育て世代、障がい者、高齢者など全世代を対象として、地域における看護力の強化と連携に取り組むこととしている。

令和4年度においては、在宅ケア推進委員会と各職能委員会が合同で、地域包括ケアシステムの推進に向けた連携強化のためそれぞれの専門領域の役割や活動について情報共有を行い、連携上の課題と課題解決に向けた取り組みについての話し合いを行った。今後も継続して情報共有・意見交換の場を持つとともに、在宅ケアの現状把握を進めて看護機能の強化を図っていく。

在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業では、コロナ禍ではあったものの全圏域で取組みを進め、圏域ごとの課題に即した検討会や研修会を開催した。多職種での研修会や事例検討会、各領域の看護管理者の検討会、訪問看護ステーション等の見学実習など、活動内容も広がりを見せ、看看連携、多職種連携がさらに深められた。

II 看護職の就業と定着の促進

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在があること、コロナ禍において看護職の需要がさらに高まっていることなどから、看護職の確保は継続した課題である。

令和4年度は、ナースセンターの人員体制を整え、新型コロナウイルス感染症対応事業として、「看護職員離職防止相談事業」「潜在看護職研修事業」に取り組み、看護職員の離職防止や潜在看護職の技術演習、就業支援に重点的に取り組んだ。また、ナースセンター事業の充実を図り、ハローワークとの連携を進めて合同就職説明会の開催地域を広げた。それらにより、多くの潜在看護職を就業に繋げることができた。

さらに働き続けられる職場づくりの啓発・支援として「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）研修会」を拡充し開催した。

III 看護の質の向上とキャリア形成の促進

本協会では、「看護職が看護専門職として、主体的に知識・技術・態度を習得し、看護実践能力の向上を図り、多様化する社会のヘルスニーズに柔軟に対応できるよう支援する」ことを教育目的に掲げ教育研修を実施している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、延期した研修はあったが、中止した研修はなかった。長期研修や一般教育研修などは、状況に応じてオンライン研修やハイブリッド研修に切り替えるなど柔軟に対応した。集合研修においては、感染対策に十分配慮して実施することで、安心で、満足度の高い研修を行うことができた。一般教育研修については、前年度より開催回数、受講者とも増加した。

IV 組織力の強化

組織力強化の広報活動として、入会促進に向け、看護師等学校養成所への訪問を重点的に実施した。

入会案内とともに、看護の日キャラクター「かんごちゃん」グッズを作成し、卒業記念品として贈呈した。また、非会員施設への訪問等も行い、会員の確保に努めた。

また、常務理事会において、ICTを活用した会員にとって有益で利便性が高く事務効率も図れる方策について調査・検討を行った。会員施設のICT環境に関する調査においては、職場に個人で使えるインターネット環境が整っている施設が大半であることがわかった。また方策としては、研修管理システムの導入について検討を進めた。

V 地域における健康危機管理体制の強化

大規模災害発生時の対応体制の強化として、災害支援ナースの育成研修を開催し、実務編ではコロナ禍における災害支援についても深めた。

新型コロナウイルス感染症への対応体制の整備としては、県行政や日本看護協会と連携し、感染拡大時の看護職員の広域派遣調整の体制を整えた。また、各種研修会の実施、マネジメント専門員の配置、看護職員の不足状況の調査、派遣可能な看護職員のマッチング、宿泊療養施設における職員等の総合調整、自宅療養者の健康観察業務等、感染拡大状況に合わせ地域のニーズに沿った事業を展開した。

事業報告は、定款第4条の8つの事業に沿って掲載

- 1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- 2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
- 4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
- 6 施設の貸与に関する事業
- 7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- 8 その他本会の目標を達成するために必要な事業

※新型コロナウイルス感染拡大への対策として、計画をしていた研修会等で中止となったものについては、主な事業内容に中止と記載した。

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 28コマ29日 総受講者 1,701人
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 19日間 (R4.10.22～R4.12.17) 修了者 76人 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 (R4.4.21～R4.9.10) 修了者 34人 ③フォローアップ研修(セカンドレベル・ファーストレベル) セカンドレベル R5.3.11 参加者 25人 ファーストレベル R4.7.7 参加者 42人
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回 第1回 R4.5.18 出席者 11人 第2回 R4.12.7 出席者 12人 ②研修責任者研修 受講者 20人 4日間 (R4.9.3、9.24、10.6、10.7) ③教育担当者研修 受講者 36人 6日間 (R4.9.3、9.16、9.18、9.30、10.13、10.14) ④実地指導者研修 受講者 55人 5日間 (R4.7.6、8.9、8.10、8.25、9.1)
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 受講者16人 6日間 (R4.7.30、8.20、10.29、12.17 R5.1.14、2.18) CLoPMiPレベルⅢ認証研修の公開講座として4科目実施 受講者 R4.7.30 11人 8.20 10人 12.17 18人 R5.1.14 28人 ②助産実践能力向上研修 1回目 R4.6.25(助産師職能集会和合同開催) 受講者 9人 2回目～4回目はCLoPMiPレベルⅢ認証研修とした。 2回目 R4.11.19 受講者 22人 3回目 R5.1.14 受講者 28人

事業項目	主な事業内容
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	<p>4回目 R5.3.11 受講者15人</p> <p>①検討会 2回 第1回 R4.5.13 出席者 14人 第2回 R4.11.16 出席者 13人</p> <p>②実習指導者養成講習会 32日間(R4.8.10～R4.10.19) 受講者38人</p> <p>③実習指導者と看護教員の相互研修 相互研修Ⅰ 1日目 R4.8.20 出席者 22人 2日目 R4.8.21 出席者 20人 相互研修Ⅱ R4.9.29 出席者 29人</p> <p>④実習指導アドバイザー派遣 3回 (R4.10.26、11.22、R5.1.24)</p>
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	<p>①検討会3回、打合せ会2回 第1回検討会・打合せ会 R4.6.8 第2回検討会・打合せ会 R4.10.14 第3回検討会 R5.1.27</p> <p>②看護職員認知症対応能力向上研修 前期 R4.7.16、7.22、8.3(3日間) 受講者58人、修了者47人 後期 R4.11.19、25、12.2(3日間) 受講者49人、修了者44人</p>
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	<p>①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 R4.6.3～4 2日間 受講者70人 修了者68人 R4.6.10～11 2日間 受講者69人 修了者67人 R4.9.16～17 2日間 受講者39人 修了者35人 R4.9.30～10.1 2日間 受講者43人 修了者43人</p> <p>②災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～ 7.8～9 2日間 受講者40人 修了者39人</p>
(8)その他研修	<p>①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 第1回 R4.7.14 受講者 70人 第2回 R4.9.27 受講者 70人</p>
(9)委員会	<p>①教育委員会 9回 第1回R4.5.24 第2回R4.7.12 第3回R4.8.23 第4回R4.9.29 第5回R4.9.29 第6回R4.11.15 第7回R4.12.21 第8回R5.1.24 第9回R5.3.16</p>
(10)日本看護協会との連携	<p>①認定看護管理者教育運営委員会 4回 第1回R4.6.9 第2回R4.8.4 第3回R4.10.6 第4回R5.2.8 全国看護基礎教育担当者会議 R4.11.30</p>
2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修	<p>①医療安全管理者養成研修(7日間45時間の研修) R4.9.14～11.29 受講者 50人 修了者 45人 医療安全管理者養成研修フォローアップ研修 R5.3.10 36人</p> <p>②医療安全管理者スキルアップ研修 R5.2.10 44人</p>

事業項目	主な事業内容
(2)医療安全推進事業	①医療看護安全啓発 医療安全情報きらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取り組みの支援。圏域代表との意見、情報交換 1回 R4.8.30 ②医療安全管理者情報交換会の開催 1回 R4.8.5 参加者 19人
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進
(5)委員会	①医療安全推進委員会 7回 第1回R4.4.21 第2回R4.6.9 第3回R4.7.7 第4回R4.8.30 第5回R4.10.7 第6回12.9 第7回R5.2.22 内第4回R4.8.30 は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全推進会議 開催なし ②医療事故調査制度等医療安全に係る研修会への参加 開催なし
3)学会等学術集会に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	①第22回山口県看護研究学会 R5.3.4 テーマ：「ともに、再び歩きだそう」 対面による口演発表 8題 一般参加者 会員 75人
(2)委員会	①学会委員会 7回 第1回R4.4.16 第2回R4.7.30 第3回R4.10.29 第4回R4.12.6 第5回R4.12.17 第6回R5.1.19 第7回R5.2.14
(3)日本看護協会との連携	①日本看護学会運営会議 1回 ②日本看護協会及び都道府県看護協会に抄録集の送付
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 雑誌・書籍等受入 定期購読雑誌・学会誌(20タイトル)：197冊 書籍：77冊 冊子：36冊 ビデオ・DVD：1本 ②図書貸出 書籍・ビデオ・DVD貸出：194件 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 山口県看護研究学会論文集・集録・抄録集の文献複写依頼：2件 医学中央雑誌へ文献複写依頼：10件 本協会図書室所蔵の文献複写：0件 ④図書室利用者：159人 岩国：10人 柳井：5人 周南：48人 防府：25人 山口：31人 宇部：9人 小野田：8人 長門：1人 萩：4人 下関：7人 会員外(非会員・学生)：11人

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 雑誌：15冊 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修(オンライン開催) R4.7.21 出席者：1人

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容																																												
1)ナースセンター事業 (1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託) (2)無料職業紹介 (山口県委託) (3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	ナースセンター運営協議会 R5.2.7 出席者14人 ①第6次NCCS (ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・求人・求職相談件数 R4.4～R5.2 <table border="1"> <thead> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>795</td> <td>2,721</td> <td>3,516</td> </tr> </tbody> </table> ・求人・求職・就職者数 R4.4～R5.2 <table border="1"> <thead> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>就職者</th> <th>就職率</th> <th>求人倍率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,675</td> <td>1,570</td> <td>165</td> <td>10.5%</td> <td>2.34%</td> </tr> </tbody> </table> ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 連携事業連絡調整会議 第1回 R4.7.13 出席者12人 第2回 R5.2.7 出席者11人 ③広報 ナースセンターだよりの発行、山口県ホームページ、本協会ホームページ、フリーペーパー等 ①再就業支援研修(病院・訪問看護ステーションにおける研修) 開催時期 R4.5～R5.3 随時開催 研修協力施設 22施設 研修期間 3～5日間 受講者7人のうち就業者4人(就業率 57%) ・地域別研修受講状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>岩国</th> <th>防府</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>長門</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> ・資格別研修受講状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> ②未就業看護職対象教育研修(集合研修) 3回 1回目 R4.6.22 参加者1人 2回目 R4.11.8 参加者3人 3回目 R4.12.7 参加者5人 ③調整会議 R5.1.25 出席者25人(会場6人、オンライン19人) ④広報	求人	求職者	合計	795	2,721	3,516	求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率	3,675	1,570	165	10.5%	2.34%	地域	岩国	防府	山口	宇部	長門	下関	合計	人数	1	1	1	2	1	1	7	資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	人数	1	0	5	1	7
求人	求職者	合計																																											
795	2,721	3,516																																											
求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率																																									
3,675	1,570	165	10.5%	2.34%																																									
地域	岩国	防府	山口	宇部	長門	下関	合計																																						
人数	1	1	1	2	1	1	7																																						
資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計																																								
人数	1	0	5	1	7																																								

事業項目	主な事業内容																											
(4)再就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	①再就業コーディネーターによるハローワーク出張相談、就業支援 ハローワーク別出張相談状況 R4.5～R5.3 <table border="1" data-bbox="595 362 1404 461"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>岩国</th> <th>徳山</th> <th>防府</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> ②再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 再就業にあたり必要な専門相談の実施 ③臨床心理士による専門相談 第4火曜日 相談実件数1件 相談延べ件数11件 ④調整会議 第1回 R4.4.26 第2回 R5.3.9 ⑤就業支援サポーターとの合同会議 R4.10.27 ⑥広報 ホームページへの掲載 チラシを作成し、各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者へ配布	地域	岩国	徳山	防府	山口	宇部	萩	下関	合計	回数	11	11	11	11	11	11	11	77	件数	10	9	3	28	14	5	12	81
地域	岩国	徳山	防府	山口	宇部	萩	下関	合計																				
回数	11	11	11	11	11	11	11	77																				
件数	10	9	3	28	14	5	12	81																				
(5)就業支援サポーターの配置 (山口県委託)	①サテライトでの相談、就業支援 R4.5～R5.3 <table border="1" data-bbox="595 916 1410 1014"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>岩国・柳井</th> <th>周南</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩・長門</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> ②サテライトからの施設・学校訪問件数 54件 ③調整会議 2回 (R4.4.26、R5.3.9) ④再就業コーディネーターとの合同会議 R4.10.27 ⑤広報 ホームページへの掲載 チラシを作成し、各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者へ配布	地域	岩国・柳井	周南	山口	宇部	萩・長門	下関	合計	回数	11	11	11	11	11	11	66	件数	1	3	16	10	3	3	36			
地域	岩国・柳井	周南	山口	宇部	萩・長門	下関	合計																					
回数	11	11	11	11	11	11	66																					
件数	1	3	16	10	3	3	36																					
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	①看護師等就業協力員研修会の開催 R4.6.22 参加者21人(会場8人、オンライン13人) ②就業協力員の活動として学校訪問への支援																											
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	①器材の貸出 ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 8種 貸出件数R4.4～R5.3 <table border="1" data-bbox="595 1570 1107 1892"> <thead> <tr> <th>器材名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>万能型成人実習モデル</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>呼吸音聴取シミュレーター</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>吸引シミュレーター</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>採血・静脈シミュレーター</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>装着式採血静脈練習キット</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>導尿・浣腸シミュレーター男性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>導尿・浣腸シミュレーター女性</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> ②個人の技術演習 毎月第1金曜日、第4火曜日に実施	器材名	件数	万能型成人実習モデル	1	呼吸音聴取シミュレーター	3	吸引シミュレーター	2	採血・静脈シミュレーター	11	装着式採血静脈練習キット	1	上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	4	導尿・浣腸シミュレーター男性	5	導尿・浣腸シミュレーター女性	6	合計	33							
器材名	件数																											
万能型成人実習モデル	1																											
呼吸音聴取シミュレーター	3																											
吸引シミュレーター	2																											
採血・静脈シミュレーター	11																											
装着式採血静脈練習キット	1																											
上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	4																											
導尿・浣腸シミュレーター男性	5																											
導尿・浣腸シミュレーター女性	6																											
合計	33																											

事業項目	主な事業内容																																																						
<p>(8)離職者・未就業者届出サポート (山口県委託)</p> <p>(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)</p> <p>(10)会議等への出席</p> <p>(11)日本看護協会との連携</p> <p>2)プレナース発掘事業 (1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)</p>	<p>演習内容別参加状況 R4.5～R5.3</p> <table border="1" data-bbox="598 324 1197 392"> <tr> <th>内容</th> <th>採血・点滴</th> <th>吸引</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>26</td> <td>4</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>③広報 本協会ホームページ、山口県ナースセンターリーフレットに掲載し、相談者、研修参加者に配布</p> <p>①届け出について病院との連携体制の整備・強化 施設訪問 46件に対し「とどけるん」の説明</p> <p>②届出制度の広報・広告 届出者に対して、eナースセンターパンフレット、山口県ナースセンターのリーフレット、サテライト相談予定日パンフレット、ハローワーク相談予定日パンフレット送付</p> <p>③届出者の状況 R4.4～R5.3</p> <table border="1" data-bbox="598 772 1029 940"> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> </tr> <tr> <td>届け出数</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>電話対応者数</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>復職意向あり</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>eナース登録者</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>①再就業支援相談会の開催(ハローワークと共催)</p> <table border="1" data-bbox="598 1008 1404 1243"> <tr> <th></th> <th>宇部会場</th> <th>岩国会場</th> <th>周南会場</th> <th>山口会場</th> <th>下関会場</th> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>R4.11.4</td> <td>R4.11.8</td> <td>R4.11.10</td> <td>R4.11.11</td> <td>R4.11.15</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>宇部市文化会館</td> <td>ハローワーク岩国</td> <td>周南市文化会館</td> <td>パルトビヤやまぐち</td> <td>海峡メッセ下関</td> </tr> <tr> <td>参加施設数</td> <td>16施設</td> <td>4施設</td> <td>6施設</td> <td>6施設</td> <td>23施設</td> </tr> <tr> <td>参加求職者数</td> <td>40人</td> <td>11人</td> <td>16人</td> <td>22人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>うち就業者数</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>10人</td> </tr> </table> <p>②看護職再就業支援相談会のあり方検討会(ハローワーク連携事業も兼ねる)2回 第1回 R4.7.13 出席者12人 第2回 R5.2.7 出席者11人</p> <p>①職業紹介責任者講習(全国民紹協) R5.1.27 受講者1人 R5.2.13 受講者1人</p> <p>②山口県看護職員確保対策協議会(県)</p> <p>①都道府県ナースセンター事業担当者会議(オンライン会議) R4.5.20 出席者1人</p> <p>②都道府県ナースセンター相談員研修(オンライン開催) R4.8.26 出席者3人</p> <p>③2023年度地域に必要な看護職確保推進事業について R5.2.1 出席者9人</p> <p>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布</p> <p>①作成80,000枚</p>	内容	採血・点滴	吸引	合計	人数	26	4	30	項目	人数	届け出数	306	電話対応者数	168	復職意向あり	91	eナース登録者	12		宇部会場	岩国会場	周南会場	山口会場	下関会場	開催日	R4.11.4	R4.11.8	R4.11.10	R4.11.11	R4.11.15	場所	宇部市文化会館	ハローワーク岩国	周南市文化会館	パルトビヤやまぐち	海峡メッセ下関	参加施設数	16施設	4施設	6施設	6施設	23施設	参加求職者数	40人	11人	16人	22人	58人	うち就業者数	4人	1人	0人	3人	10人
	内容	採血・点滴	吸引	合計																																																			
	人数	26	4	30																																																			
	項目	人数																																																					
	届け出数	306																																																					
	電話対応者数	168																																																					
	復職意向あり	91																																																					
	eナース登録者	12																																																					
		宇部会場	岩国会場	周南会場	山口会場	下関会場																																																	
	開催日	R4.11.4	R4.11.8	R4.11.10	R4.11.11	R4.11.15																																																	
場所	宇部市文化会館	ハローワーク岩国	周南市文化会館	パルトビヤやまぐち	海峡メッセ下関																																																		
参加施設数	16施設	4施設	6施設	6施設	23施設																																																		
参加求職者数	40人	11人	16人	22人	58人																																																		
うち就業者数	4人	1人	0人	3人	10人																																																		

事業項目	主な事業内容																																																		
<p>(2)1日ナース体験 (山口県委託)</p> <p>(3)看護の魅力発見 (山口県委託)</p> <p>(4)看護職員の学校訪問 (山口県委託)</p> <p>3)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援</p>	<p>②配布</p> <table border="1" data-bbox="598 324 1412 459"> <thead> <tr> <th>配布先</th> <th>配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内の中学校(149校)・高等学校(93校)</td> <td>69,460</td> </tr> <tr> <td>県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関</td> <td>10,540</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：施設見学、模擬看護体験、看護職員との交流 協力病院：34施設 開催時期：夏休み中 参加者：中学生44人、高校生46人</p> <p>①看護の魅力発見開催状況(人数)</p> <table border="1" data-bbox="598 705 1412 963"> <thead> <tr> <th></th> <th>光地域</th> <th>山口地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力病院</td> <td>光市立光総合病院</td> <td>済生会山口地域ケアセンター</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>R4.10.22</td> <td>R4.10.29</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>あいぱーく光</td> <td>山口県健康づくりセンター</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>55</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>62</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <p>ミニナース体験、看護の進路相談などを実施</p> <p>②実行委員会の開催 2回 第1回R4.8.3 第2回R4.12.16</p> <p>看護師等就業協力員による中学校訪問の実施</p> <table border="1" data-bbox="598 1142 1005 1467"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>訪問校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>岩国</td><td>5</td></tr> <tr><td>柳井</td><td>2</td></tr> <tr><td>周南</td><td>2</td></tr> <tr><td>防府・山口</td><td>4</td></tr> <tr><td>宇部・山陽小野田</td><td>4</td></tr> <tr><td>長門</td><td>2</td></tr> <tr><td>萩</td><td>4</td></tr> <tr><td>下関</td><td>2</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>25</td></tr> </tbody> </table> <p>①労働環境支援委員会 4回 (R4.7.5、R4.10.6、R4.12.15、R5.2.10)</p> <p>②看護職員就労定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシーワークプレイス研修会① 対象：看護管理者・事務長 R4.9.29(木) 受講者24人(看護職15人、事務職9人) ・ヘルシーワークプレイス研修会② 対象：中間管理職 R4.9.8(木)9.9(金) 受講者30人 ・セカンドキャリア支援研修会 R4.12.22(木) 受講者14人 ・「セカンドキャリア人材バンク」の設置 R4年度登録者 6人 マッチング実績 イベント支援1件 	配布先	配布枚数	県内の中学校(149校)・高等学校(93校)	69,460	県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関	10,540		光地域	山口地域	協力病院	光市立光総合病院	済生会山口地域ケアセンター	開催日	R4.10.22	R4.10.29	場所	あいぱーく光	山口県健康づくりセンター	小学生	55	42	中学生	7	9	高校生	3	6	その他	62	71	地 域	訪問校数	岩国	5	柳井	2	周南	2	防府・山口	4	宇部・山陽小野田	4	長門	2	萩	4	下関	2	合 計	25
配布先	配布枚数																																																		
県内の中学校(149校)・高等学校(93校)	69,460																																																		
県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関	10,540																																																		
	光地域	山口地域																																																	
協力病院	光市立光総合病院	済生会山口地域ケアセンター																																																	
開催日	R4.10.22	R4.10.29																																																	
場所	あいぱーく光	山口県健康づくりセンター																																																	
小学生	55	42																																																	
中学生	7	9																																																	
高校生	3	6																																																	
その他	62	71																																																	
地 域	訪問校数																																																		
岩国	5																																																		
柳井	2																																																		
周南	2																																																		
防府・山口	4																																																		
宇部・山陽小野田	4																																																		
長門	2																																																		
萩	4																																																		
下関	2																																																		
合 計	25																																																		

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	①看護労働担当者会議 R4.5.19 ②研修 「看護職の処遇改善をすすめよう！」 R5.1.7 受講者 50人 「看護職員の賃金見直しに関する勉強会」 R5.2.15 受講者33人(看護職21人、事務職12人) ③令和4年度厚生労働科学研究「潜在看護職の復職支援に関する実態調査」協力チラシ配布 311施設 ④看護職員の処遇改善に向けたリーフレット配布 311施設
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務 (山口県委託)	①医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣 ・派遣件数 0件
4)新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 (山口県委託)	①宿泊療養施設等のマネジメント専門員の配置 ・宿泊療養者数に応じた看護職員の確保 ・宿泊療養施設訪問 A施設 49回 B施設 102回 ・B施設 マニュアル等の整備 強化型患者対応、食中毒予防、災害時緊急避難患者対応、環境整備、治療薬等についてのマニュアル整備 PPE着脱動画の作成 ・運営会議等への参加 A施設 2回 B施設 9回 ②看護職員紹介マネジメント専門員の設置 ③潜在看護師掘り起こし及び求人施設のマッチング 潜在看護師スキルアップ研修受講生32人に緊急時の求人に対する呼びかけ 新型コロナウイルス就業協力者の登録及びリスト作成 56人 ④現状調査 139病院の看護管理者を対象に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現状調査 調査期間：R4.7.1～7.15 回答率68.3% ⑤新型コロナウイルス感染症拡大に対応する看護職員の派遣調整 調整の内訳 派遣病院：5施設 延べ23施設 派遣看護師数：23人 派遣日数 合計137日 ⑥新型コロナウイルス感染症に関する研修の実施 ・感染対策の役割を担う看護職研修会 R4.12.21 参加者：88人 ・感染管理認定看護師スキルアップ研修 R4.11.29 参加者：15人 ⑦新型コロナウイルス感染症クラスター施設支援マニュアルの作成
5)新型コロナウイルス感染症対応事業 (1)看護職員メンタルサポート事業 (山口県委託)	①メンタルサポート専門員の配置 ②メンタルサポートに関するニーズ調査 139病院の看護管理者を対象にメンタルサポートに関する現状調査 調査期間：R4.7.1～7.15 回答率68.3% ③メンタルヘルス相談 (ストレスコーチング) R4.4～ R5.3 毎月第1土曜日、第3木曜日 対面およびオンラインによるリモート面接

事業項目	主な事業内容																								
<p>(2)新型コロナウイルスワクチン接種に従事する潜在看護師確保事業</p> <p>(3)新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業 広域人材調整事業 (日看協委託)</p> <p>(4)新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業 (日看協委託)</p>	<p>相談実人数：8人 延べ人数：18人</p> <p>④研修会 職能、職位別研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師職能：保健師交流会 R4.6.25 参加者：34人 ・助産師職能：新人助産師研修会 R4.7.30 参加者：16人 ・看護管理者：看護管理者メンタルヘルス研修 R5.1.26 参加者：48人 <p>⑤出張による個別相談会及び院内研修</p> <p>R4.10月～R5.1月 山口県内10病院と2行政機関 参加者：看護職 209人(看護管理者75人 スタッフ134人) 看護職以外 109人(医師、介護福祉士、管理栄養士、診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、事務職等)</p> <p>⑥ストレスコーチング相談周知のためのチラシ、カードを作成するとともにホームページへ掲載 チラシ 3000枚 カード 8000枚</p> <p>①潜在看護師の積極的な掘り起こし</p> <p>R3～4年度届出者およびeナース登録者へチラシ配布 1000枚 R4年度サテライト相談者、ハローワーク相談者へ手渡し 50枚 各ハローワークへチラシ送付 100枚 潜在看護職スキルアップ研修参加者へチラシ配布 50枚</p> <p>②潜在看護師の不安解消のための実技セミナー</p> <p>R4.6月～9月(毎月第1第3水曜日 14:00～16:00)実施</p> <table border="1" data-bbox="598 1019 1236 1086"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>③潜在看護師と集団接種会場とのマッチング 0件</p> <p>①応援派遣元の県協会としての派遣調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材調整に必要なニーズの把握 ・応援派遣者の所属機関(医療機関)への派遣調整 ・潜在看護師等の臨時的な雇用による派遣調整 ・潜在看護師等への臨時的雇用求人の説明及び連絡リスト 7月30人 9月32人 ・看護管理者会議 R4.7.21(木) 参加者52人 ・広域人材調整事業における応援派遣窓口依頼 139病院中85病院窓口担当者設置 <p>②派遣要請県の看護協会としての派遣調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援派遣元の県協会との派遣調整 ・応援派遣先との総合的な派遣調整 <p>①新型コロナウイルス感染症に対する看護職への研修支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在看護職へのスキルアップ研修会の実施 ・研修広報用チラシを未就業者に1000枚配布 ・研修用備品購入 ミスターラングⅡ ・研修用シミュレーター(シナリオ)1年間レンタル ・7月・9月・11月・2月に各1クール研修実施(1クール：4回/月) スキルアップ研修受講者延べ人数R4.7～R5.2 <table border="1" data-bbox="619 1886 1264 1953"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>7月</th> <th>9月</th> <th>11月</th> <th>2月</th> <th>合計(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	月	6月	7月	8月	9月	合計	参加者	3	0	1	3	7	月	7月	9月	11月	2月	合計(人)	受講者数	30	32	19	21	102
月	6月	7月	8月	9月	合計																				
参加者	3	0	1	3	7																				
月	7月	9月	11月	2月	合計(人)																				
受講者数	30	32	19	21	102																				

事業項目	主な事業内容										
(5) 新型コロナウイルス感染症 対応看護職員離職防止相談 事業 (日看協委託)	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響による看護職員の離職防止策への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員の新型コロナにおける離職防止のための相談窓口の設置 相談用特設電話設置、ホームページに専用窓口設置 相談件数R4.4～R5.3 <table border="1"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>電話</th> <th>メール</th> <th>来所(サテライト含む)</th> <th>合計(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>46</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口のPR(チラシ作成・ホームページ作成) 新型コロナ感染症重点病院、協力病院、看護協会会員施設・非会員施設等にチラシ1000枚配布 メール専用相談窓口をホームページに作成 	方法	電話	メール	来所(サテライト含む)	合計(件)	件数	3	2	46	51
方法	電話	メール	来所(サテライト含む)	合計(件)							
件数	3	2	46	51							
(6) 自宅療養における健康管理実 施に関する協定	<p>① 新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康観察 4月～10月4日 山口県における全健康福祉センターにおける健康観察支援</p>										

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 看護業務の質の向上に関する 事業 (1) 保健師職能委員会	<p>① 保健師職能委員会 10回 第1回R4.4.9 第2回R4.5.7 第3回R4.6.25 第4回R4.8.20 第5回R4.9.10 第6回R4.10.29 第7回R4.12.17 第8回R5.1.14 第9回R5.2.4 第10回R5.3.18</p> <p>② 支部職能委員との合同会議 2回 (R4.11.5、R5.3.18)</p> <p>③ 全国職能委員長会 1回</p> <p>④ 地区別保健師職能委員長会 1回</p>
ア 保健師の連携強化及びネット ワークの構築	<p>① 保健師職能集会の開催 R4.6.25</p> <p>② 保健師職能交流会の開催 R4.11.5</p> <p>③ 支部連携として合同会議の開催</p> <p>④ ひたむきな保健師取材、会報きらめき 掲載 3回</p> <p>⑤ ホームページ、会報・チラシによる情報発信</p>
イ 保健師の専門性を発揮する ための資質向上の推進	<p>① 研修会・交流会の実施</p> <p>② 一般教育研修計画への参画</p> <p>③ 日本看護協会実施の研修会受講</p>
ウ 活動の啓発および会員増加 の推進	<p>① 保健師職能集会や交流会の開催 R4.6.25 職能集会 34人</p> <p>② 保健師活動啓発リーフレットの改訂、会員勧誘チラシ改訂版の活用</p> <p>③ ホームページ、会報による情報発信</p>
(2) 助産師職能委員会	<p>① 助産師職能委員会 6回 第1回R4.5.12 第2回R4.7.8 第3回R4.9.2 第4回R4.10.14 第5回R4.12.9 第6回R5.2.16</p> <p>② 支部職能委員との合同会議 2回(10月、2月)</p>

事業項目	主な事業内容
ア 周産期医療の現状と課題の把握	③全国職能委員長会 1回 ④地区別助産師職能委員長会 1回 ①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告
イ 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上研修(中堅助産師研修)の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢの導入・活用推進 CLoCMiPレベルⅢ認証研修の企画および実施
ウ 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用	院内助産システムの推進に向け委員会、支部合同会議でガイドラインの周知。アドバンス助産師を目指し、助産師出向システムの活用を推進。
エ 災害時の対応	①支部助産師職能委員合同会議等を活用した情報交換、情報共有を実施
オ 広報活動	①イベントでの助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日、いいお産の日 ポスター掲示等による周知活動 ②ホームページ等へ記事投稿
カ 4職能委員会の連携強化	①在宅ケア推進委員会において、4職能委員会と地域包括ケアシステムについての情報共有と課題の検討
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 第1回R4.5.19 第2回R4.7.14 第3回R4.8.19 第4回R4.9.21 第5回R4.10.20 第6回R4.11.24 第7回R4.12.5 第8回R5.2.16 第9回R5.3.22 ②看護師職能委員会Ⅱとの合同会議(5回) ③全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 1回 ④地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	①クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 ・ラダー活用のアンケート調査を実施 ・JNAクリニカルラダー活用の現状の調査結果の報告と導入2施設の現状報告および情報共有目的として研修会を開催
イ 地域包括ケアシステムの推進に向けた、地域における看護力の連携と強化	①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会の課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能研修会 JNAクリニカルラダーに向けての人材育成研修 1回(R5.2.16開催) 参加者46人 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信

事業項目	主な事業内容
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能 I 委員長会議 1回 ②地区別看護師職能 I 委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会 II	①看護師職能委員会 II 8回 第1回R4.5.19 第2回R4.7.14 第3回R4.9.21 第4回R4.10.20 第5回R4.11.24 第6回R4.12.15 第7回R5.2.16 第8回R5.3.18 ②看護師職能委員会 I との合同会議(5回) ③全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 1回 ④地区別看護師職能委員長会 1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	①介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内14施設で開催(R4.9月～R5.3月)
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能 II 交流会開催(1回) R3.3.18実施 参加者19人
ウ 4職能委員会の連携推進	①地域包括ケアシステム構築に向けた連携推進 4職能それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題を抽出し、情報共有を図る ②看護師職能委員会 I との連携
エ 支部看護師職能委員 II との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能 I 委員会の課題等について意見集約
オ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能研修会 R5.2.16開催 JNAクリニカルラダーの推進に向けての人材育成研修 参加者46人
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 R4.6.25実施 参加者41人 ②助産師職能集会 1回 R4.6.25実施 参加者11人 ③看護師職能集会 1回 R4.6.25実施 参加者20人
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 7回 第1回R4.4.23 第2回R4.6.4 第3回R4.7.30 第4回R4.9.10 第5回R4.11.8 第6回R4.12.3 第7回R5.2.17
ア 〇看護制度の課題解決への取り組み	①看護教育について看護職・看護教員との情報を共有し課題解決に取り組む 令和2年度に実施した看護教員へのアンケート結果をもとに課題を検討、看護協会報等で書面報告 ②准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けての支援 准看護師スキルアップ研修会の企画・実施 R4.12.3 受講者15人 ③看護専門領域の資格取得者との連携強化 認定看護師の地域における活動の実態調査に向けての検討
イ 日本看護協会との連携	①全国准看護師担当役員会議 開催なし
ウ 広報活動	①会報「きらめき」への投稿、広報・活動報告

事業項目	主な事業内容
(7)助産師出向支援導入事業 (山口県委託)	①助産師出向支援の実施 意向調整結果より出向調整を行い、1事例の助産師出向を実施 目的：研修出向 期間：R5.2.13～R5.3.12 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回 第1回R4.9.15 第2回R5.3.2 ③助産師出向に関する調査の実施 期間：R4.10.7～11.22 対象：山口県内分娩取り扱い施設28か所 回答：20施設(回答率71.4%) ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 R4.12.17 テーマ「産後のメンタルケア」 受講者 18人 ⑤令和4年度島根県助産師出向支援事業報告会への参加 R5.3.25 参加者 2人

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口県委託事業 訪問看護師実践事業を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催 岩国支部：2回 柳井支部：2回 周南支部：3回 防府支部：3回 宇部・小野田支部：3回 長門支部：2回 下関支部：3回 ②研修会・交流会等の開催 岩国支部：1回 柳井支部：訪問看護ステーション等見学実習4回 周南支部：1回 防府支部：1回 長門支部：4回 萩支部：1回 下関支部：1回
(2)在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会 5回 第1回R4.5.20 第2回R4.9.6 第3回R4.11.11 第4回R4.12.17 第5回R5.2.15 訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催1回を含む
ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	①現状調査結果をふまえた、取り組みの方向性を明確にするための検討 ・職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業等と連携した現状調査の作成、実施 ・現状調査結果の集計、職能委員会等との情報交換をふまえた山口県の現状分析により、具体的な課題の抽出、検討 ②職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催 1回
イ 在宅ケアにかかる看護の実	①訪問看護師育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催 1回

事業項目	主な事業内容
<p>践能力の向上および連携推進</p>	<p>②山口県訪問看護推進協議会へ委員として出席 1回 ③情報提供、意見交換を目的とした4職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会の委員長との会議の開催 1回</p>
<p>(3)訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)</p>	
<p>ア 訪問看護活動の充実、推進</p>	<p>①訪問看護推進協議会 1回 R5.3.16</p>
<p>イ 訪問看護師の看護実践能力の向上</p>	<p>①訪問看護研修ステップ1(訪問看護人材養成基礎カリキュラムによる訪問看護初任者研修) R4.5.19～12.15 180時間 31日間 受講者20人、修了者18人 4科目の公開講座を実施 8.4 感染管理 受講者 9人 9.1 フィジカルアセスメント 受講者13人 10.1 精神障がい者の看護 受講者11人 11.10 エンドオブライフケア 受講者18人 ②中堅者・管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修) R4.11.26 受講者 31人 R5.1.21 受講者 14人 ③訪問看護の未経験者、初任者に対して訪問看護入門研修の実施 R5.2.9、2.16 訪問看護入門研修(訪問看護未経験者、訪問看護新任者対象) 受講者 実人数 42人 延べ人数 80人 ・訪問看護従事新任者 27人 ・訪問看護未経験者 15人 ④訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動</p>
<p>ウ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み</p>	<p>①訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供公開講座 4回実施</p>
<p>エ 在宅感染管理研修事業 (山口県委託)</p>	<p>①訪問看護師等在宅療養を支援する看護職に向けた研修実施 ・在宅感染管理研修(1回目) 訪問看護事業所での感染対策 R4.12.10 受講者 25人 施設等における感染症対応 R4.12.10 受講者 19人 ・在宅感染管理研修(2回目) 訪問看護事業所での感染対策 R5.1.13 受講者 23人 施設等における感染症対応 R5.1.13 受講者 24人 ②在宅療養者等向け感染管理啓発リーフレットの企画、作成、配布 在宅療養者とその家族向け(利用者用) 12,000枚印刷 在宅療養者を支援する支援者向け(支援者用) 6000枚印刷 訪問看護事業所、看護小規模多機能事業所等関係機関に送付</p>
<p>(4)日本看護協会及び関係団体との連携</p>	<p>①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力</p>
<p>2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p>	<p>①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携</p>

事業項目	主な事業内容
<p>3)健康相談・啓発等の事業</p> <p>(1)「まちの保健室」活動の実施</p> <p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p> <p>(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ほうふ：26件 とくち：22件 ひかり：48件 ・在宅看取り ほうふ：2件 とくち：2件 ひかり：4件 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ほうふ：2件 とくち：3件 ひかり：3件 ・利用者の受診介助 ほうふ：15件 とくち：0件 ひかり：25件 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 R4.5.24 R4.12.20 ②質の高い訪問看護サービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護サミット2022への参加 2名 ・その他の研修参加 ほうふ：25回 ひかり：10回 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ③訪問看護に関わる関連団体との協力 <ul style="list-style-type: none"> ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ：18人 ひかり：8人 ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワークなどへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布 <p>①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催</p> <p>②普及啓発グッズの配布</p> <p>③関係機関との連携推進</p> <p>④「まちの保健室」企業と連携</p> <p>⑤健康フェアへの出展</p> <p>※商業施設等での実施はせず、各支部でワクチン接種会場やイベント会場等でのリーフレット配布、健康に関する動画を作成・配信。</p> <p>①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)</p> <p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日 相談件数：149件(がん相談：143件 がん以外の相談：6件)</p> <p>②他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援のための会議 山口県がん診療連携協議会相談支援部会会議(オンライン会議)1回 R4.7.7 2名参加</p>

事業項目	主な事業内容
<p>4)災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1)災害支援活動体制の整備、充実</p> <p>(2)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援</p> <p>(3)平常時の防災活動の推進</p> <p>(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働</p> <p>(5)委員会</p> <p>5)「看護の日」及び「看護の心」PR事業</p> <p>(1)看護の日・看護週間行事開催</p> <p>(2)看護のPR</p>	<p>③がん相談支援スキルアップ研修会参加 第37回日本がん看護学会学術集会 R5.2.25～26 オンラインにて2名参加</p> <p>④相談窓口の積極的な利用の促進 新聞広告掲載20回 広告入りマスクを作製し山口市の新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種会場で500枚配布 広告入りウエットティッシュを山口県の新型コロナワクチン感染症ワクチン集団接種会場・山口市及び防府市のワクチン集団接種会場にて合計20,000個配布等</p> <p>①災害支援体制の整備・充実 ・災害支援ナース新制度についての情報収集 ・災害支援ナース登録システムの活用についての検討 ・災害支援活動物品確認、整備</p> <p>①災害支援ナース研修「基礎編」 (災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～) JNA収録DVD研修 R4.7.8～7.9 2日間 受講者 40人、修了者 39人</p> <p>②災害支援ナース「実務編」 R4.10.17、23の2日間 修了者31人</p> <p>③災害支援ナースフォローアップ研修の企画</p> <p>④災害支援ナースの新規登録準備</p> <p>⑤災害支援ナース新制度および養成研修の情報収集</p> <p>①山口県総合防災訓練へのオンライン参加</p> <p>②災害支援物品の整備</p> <p>①行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携</p> <p>②自衛隊艦艇等を活用した災害医療活動訓練への参加者の推薦</p> <p>①災害支援委員会 6回(R4.4.14、7.28、9.13、11.4、12.19、R5.3.15)</p> <p>①2022年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ・高校生を対象に「看護の日」トークイベントのパブリックビューイングを開催 R4.5.9 ・進路相談を実施</p> <p>②会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 23施設 参加者4,700人</p> <p>③ふれあい看護体験を学生等を対象として会員施設で開催 3施設 参加者13人</p> <p>④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布</p> <p>①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 R5.2.14 高校生参加者99人</p> <p>②やまぐち未来のしごとフェスタ出展 R4.10.4～10.5 中学生参加者215人</p>

事業項目	主な事業内容
	③みらいWalker★UBE出展 R4.9.28～9.29 中学生参加者234人 ④職場体験 ⑤進路相談

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	※法人事業 ①通常総会 R4.6.8 ②理事会 6回 ③法人会員会 5回 ④代議員研修会 R4.5.14 ⑤都道府県看護協会事務担当者会議 開催なし ⑥都道府県看護協会政策責任者会議 R4.9.29 ⑦会員情報管理情報交換会 R4.9.7 ⑧全国准看護師理事会議 開催なし ⑨都道府県看護協会広報担当役員会議 R4.11.10 ※公益事業 ⑩全国職能別交流集会 R4.6.9 ⑪全国職能委員長会 R4.9.9 ⑫地区別職能委員長会 R4.10.20・21 ⑬訪問看護連絡協議会合同会議 R4.11.18 ⑭ナースセンター事業担当者会議 R4.5.20 ⑮全国看護基礎教育担当役員会議 R4.11.30 ⑯都道府県看護協会災害看護担当者会議 開催なし (災害支援ナース養成研修に関する説明会 R4.3.29) ⑰都道府県看護協会看護労働担当者会議 R4.5.19 ⑱都道府県看護協会医療安全担当役員会議 開催なし
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸 4件 ②会員及び支部に対し会議室等を無料貸出 14件

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	① 名誉会員制の継続 新規 ② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 4人表彰 ④ 傷病見舞 5件、(罹災見舞、休業見舞)死亡弔慰金 2件等の支給 ⑤ 会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥ レジャー施設入場支援 ⑦ レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容																
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターの運営 相談件数：61件 内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>分類</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業関連の悩み</td> <td>37</td> <td>看護業務</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>進学・進路</td> <td>9</td> <td>職場環境</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>学習(研究)支援</td> <td>1</td> <td>その他</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	分類	件数	分類	件数	就業関連の悩み	37	看護業務	2	進学・進路	9	職場環境	6	学習(研究)支援	1	その他	6
分類	件数	分類	件数														
就業関連の悩み	37	看護業務	2														
進学・進路	9	職場環境	6														
学習(研究)支援	1	その他	6														
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議 3回																
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営																
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) R4.6.18 ② 理事会(※法人) 7回 常務理事会(※法人) 5回 監査会(※法人) 2回 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回 ・ 推薦委員会(※法人) 2回 ・ 県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回 ・ 選挙管理委員会 1回 ・ 他、各種会議(※法人)																
(3) 看護政策推進のための組織強化事業	① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加																

事業項目	主な事業内容
<p>4) 広報活動事業</p> <p>(1) 広報活動</p> <p>(2) 各種情報提供</p> <p>5) 他団体との連携</p> <p>(1) 看護教育機関との連携</p> <p>(2) 看護関連政策の推進</p> <p>(3) 他団体との共催行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員就業施設訪問 ・看護管理者会議によるネットワーク強化 ②看護協会入会促進 <ul style="list-style-type: none"> ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 R4.6月に、看護職が在籍するすべての施設に協力案内を送付 ・看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・看護学校卒業生への啓発活動 28校、1,300人に看護協会パンフレットを配布し、かんごちゃん紙クリップを贈呈 ①会報「きらめき」発布(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル：常務理事会で協議 ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ①会員増加の推進(※収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・通郵便 1回/月 ・印刷物等配布 ①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人) ①要望・事業提案(※法人) <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携 山口県看護協会・山口県看護連盟合同研修会 R4.12.24 ①医療関係団体新年互例会(※法人) R5.1.7 ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和4年度 一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修名(テーマ)	開催日	受講者数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
専門職業人として求められるもの～看護って素晴らしい！新人ナースの皆さんへのメッセージ～	5/18(水)	84	67	17

【看護研究】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
楽しくわかる！看護研究 「量的k研究と統計手法」(2日間)	7/1(金)、 7/2(土)	41	36	5
質的研究に挑戦！ ～データ収集と分析について学ぶ～	8/17(水)	38	37	1

【看護管理】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
【オンライン講義】 中堅看護師にやる気を出させる 目標管理とコーチング	5/28(土)	48	47	1
苦手意識を克服 わかりやすいSWOT分析の手法を学び、 組織の理解を深めよう	令和5年 1/14(土)	55	54	1
特定行為研修修了者の活用 ～マネジメントと仕組みづくり～ 延期	令和5年 1/21(土)	令和5年度 に延期	0	0
プレ管理者向け研修				
リーダーシップに必要な要素について学ぼう ～統率力・率先力・コミュニケーション力～	9/24(土)	63	63	0

【自己教育】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
論理的な「考え方」「話し方」のコツ	7/20(水)	83	82	1
社会人基礎力 ～中堅編～	7/28(木)	44	43	1
レジリエンスを高めよう	8/19(金)	36	34	2

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
フィジカルアセスメントの進め方	8/24(水)	41	38	3
現場で使える臨床推論	9/10(土)	24	24	0
高齢者看護に必要なアセスメントとケア ～多角的に捉えるポイント～	11/8(火)	66	64	2

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
見過ごしてはいけない急変の徴候と対応	8/31(水)	83	77	6
現場で役立つ感染対策の基礎知識 ～標準予防策・感染経路別予防策～	6/22(水)	89	81	8
知っているけど出来ていない感染対策 ～基礎からの乖離に気づきユニットでそれを埋めましょう～	10/21(金)	63	63	0
【オンライン研修】 意外と知らない輸液のこと ～輸液管理に必要な基礎知識～	11/30(水)	93	92	1
ハート先生の「ナースのための心電図教室」	10/13(木)	116	107	9
褥瘡ケアの基本と応用 ～こんなときどうする？実践に活かすためのポイント～	9/22(木)	108	94	14
現場で生かせる認知症看護の基本と実践	12/13(火)	38	37	1

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	一般受講者数
【オンライン研修】	医療従事者の安全を支える ノンテクニカルスキル	7/30(土)→1/25 (水)に変更	24	22	2
安全な薬剤の取り扱いについて		12/7(水)	81	81	0
知っておきたい福祉防災		8/27(土)	20	19	1
災害支援看護師って何するの？ ～災害と災害支援ナースの役割について学ぼう		9/28(水)	30	30	0

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	一般受講者数
基礎から学ぶ看護倫理		6/30(木)	54	53	1
一度でやらない！ひとりでやらない！ アドバンス・ケア・プランニング		令和5年 1/28(土)	82	77	5
心不全のACP		12/9(金)	73	70	3
リーダーの倫理的意思決定		10/29(土)	48	47	1

リクエスト枠

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	一般受講者数
【オンライン講義】	その人の力を尊重する認知症ケア の実践に向けて ～ ユマニチュードを取り入れた関 わり方を学ぶ～	10/8(土)	76	72	4

令和4年度 支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長 白銀優子

活動目標	地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 医療・看護・介護従事者との連携・ツールの課題を検討し改善する
評価と今後の課題	在宅療養支援を柱に多職種連携を中心とした活動を実施し、訪問、病院、行政との連携が深まった。また、連携ツールは市のホームページからダウンロード可能となり活用の幅が拡大されている。 今後の課題として、連携ツールの活用を更に身近なものにしていきたい。
支部集会	日 時：R4.7.9(土) 13：30～15：30 会 場：岩国市福祉会館 3階小ホール (役員のみ規模縮小開催) 支部会員数：515人 出席者数：32人 委任状提出者数：366人
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修：支部研修会 2)職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会 R4.11.17(木)在宅療養支援のための看護職連携研修 「ときどき入院。ほぼ在宅」地域への取り組みに向けた多職種研修会 ファシリテータ いしいケアクリニック 院長 原田唯成 定員50人(規模縮小開催)：出席者50人 事例検討・グループワーク 3)支部合同看護マネジメント研究会(開催地 柳井市) R5.2.4(土)開催場所：柳井医療センター 参加者合計：85人 (柳井：26人、岩国：30人、周南：29人) 10演題
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 看護管理者ネットワーク会議に参加による情報共有
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事、国際助産師の日の開催 まちの保健室で実施、各施設で実施 2)「いいお産の日」啓発事業 未実施 3)まちの保健室開催 R4.12.18(日) フレスタモールガジル広場：山口県赤十字献血センター献血車周辺 健康維持に関するリーフレット200セット配布 4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会、2回研修会、1回
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰者推薦事業 2)看護職交流会 未実施
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) (2)看護学校入学、卒業式祝電 2)支部集会 1回 3)支部役員会5回開催(R4.5月、7月、8月、12月、R5.5月) 4)支部委員会 (1)職能委員会6回 (2)教育委員会6回 (3)推薦委員会2回 開催 (4)選挙管理委員会1回 開催 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」(2)県協会ホームページへの投稿

柳井支部事業報告

支部長 大東美恵

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2) 支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。 3) 「まちの保健室」の活動を通して、地域住民の健康福祉に寄与する。
評価と今後の課題	まちの保健室は、新型コロナウイルス感染第7波のため対面による通常開催は中止。地域住民に健康への啓発が促進できるような代替案を検討中。支部集会及び支部集会前の特別講演は、人数制限しつつも会員現地参集で開催できた。3支部合同看護マネジメント研究会は、3年ぶりに規模は縮小したものの対面開催できた。在宅療養支援のための看護職の連携推進研修における柳井支部訪問看護ステーション等見学実習は、計4人の実習生が4施設で実施できた。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 R5.2.4(土)13:00~17:00 85人参加
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけやコロナ禍の看護職支援のメンタルヘルス相談の活用への働きかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 ① 各施設で状況に応じて実施 2) 健康相談・啓蒙等の事業 (1) まちの保健室 ① 地域住民に健康への啓発が促進できるような代替案としてR4.7.2に柳井ゆめタウンで手指衛生のリーフレットと看護協会のノベルティグッズを100人に配布。対面式での町の保健室は開催中止。 (2) 国際助産師の日事業 ① 各施設で状況に応じて実施 (3) 進路相談 ① 各施設で実施 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1) 検討会1回目R4.9.22、2回目R5.2.1実施。 (2) 研修会は訪問看護ステーション等見学実習とし、計4人の看護師が4施設で実習した。
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 (1) 県協会への協力 2) その他の事業 (1) 支部集会前研修→7/2(土)講演会「基本的な口腔ケア」出席者42人 講師：周防大島町立大島病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 捧 涼子氏
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席 令和4年度柳井医療圏地域医療構想調整会議(対面)及び地域密着型サービス運営委員会(書面)開催参加 (2) 柳井保健医療圏看護管理者域情報交換会(WEB会議)有志4施設で11月24日実施 (3) 看護学校4校 入学式・卒業式祝電 2) 支部集会 R4.7.2(土)出席者42人 委任状441人 3) 支部役員会 予定通り5・6・9・12・3月の計5回開催。 4) 支部委員会(1)職能委員会(2)教育委員会(3)推薦委員会(4)選挙管理委員会 予定通り開催 5) 広報活動 (1) 県協会広報「きらめき」への投稿(2) 県協会ホームページへの投稿

周南支部事業報告

支部長 山本美紀

活動目標	1)会員の看護の質の向上を図る 2)会員相互の親睦を図り、地域や多職種との連携を深める
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が継続できるような方法を検討していき、初のオンライン研修を開催することができた。在宅療養支援のための看護職推進研修会では3年ぶりの対面式研修会で高評価の意見が多く聞かれた。今後は、withコロナとして事業の継続ができるように検討していきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育・職能委員会合同研修会 「褥瘡ケア～外用薬の選び方と使い方～」 R4.11.26ハイブリット 参加者：83人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会(開催担当：柳井支部) R5.2.4 参加者：85人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 県協会労働環境支援委員会の研修会参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2)健康相談・啓蒙活動の事業 (1)まちの保健室 行政機関と連携しグッズ・リーフレット配布 4回 (2)国際助産師の日事業 中止 (3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会 3回 ②研修会 R5.1.28参加者：29人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)その他の事業 管理者交流会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会R4.7.23出席者：17人 委任状：1807人 2)支部役員会 6回(うち1回 書面) 支部委員会 職能委員会 5回 教育委員会 6回 推薦委員会 1回 選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)「きらめき」へ投稿 4)地域会議への出席 11回(地域構想調整会議 コロナ感染症対策 在宅医療他)

防府支部事業報告

支部長 杉山真弓

活動目標	地域包括ケアをすすめる看護職の連携強化
評価と今後の課題	<p>新型コロナウイルスの影響で活動の制限が継続していた。まちの保健室が対面での対応ができないため、代替案にて活動を行った。</p> <p>感染状況を見ながら、在宅療養支援のための看護職連携推進の強化研修会は開催ができたが、感染拡大により中止にせざるを得ない研修会もあった。</p> <p>次年度は、新たな取り組みとしてSNSの活用を行い、活動の拡大を図りたい。</p>
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	<p>1)教育委員会 教育研修会 R5.2.18「アナフィラキシーについて」新型コロナウイルス拡大にて延期(R5年度の開催予定)</p> <p>2)職能委員会 R4.11.15 在宅療養支援のための看護職連携推進の強化と合同研修会開催</p>
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1)看護職への推進事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ</p>
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1)看護の日]及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 中止 代替案を計画中</p> <p>2)健康相談・啓蒙等の事業 (1)まちの保健室開催 中止 【代替案】イオン防府店内にパンフレット、リーフレット設置(R4.12.19～12.25)</p> <p>(2)進路相談・看護職の就労支援 中止 代替案を計画中</p> <p>3)在宅療養支援に係る看護職連携推進の強化 (1)検討会3回 (オンライン1回、対面2回) (2)研修会1回 R4.11.15「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには～へき地医療の経験から～」講師：山口県山口健康福祉センター防府保健所 所長 原田昌範先生</p>
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	<p>1)会員の福利厚生等に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力 (2)その他の事業 ①親睦会 検討中</p>
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	<p>1)支部役員会 7回 開催</p> <p>2)支部委員会 (1)職能委員会 3回 (2)教育委員会 3回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回</p> <p>3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿</p>

山口支部事業報告

支部長 口羽理恵

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護力の向上と連携強化を図る 2) 地域活動により地域住民の健康増進活動を推進する	
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染拡大により、活動目標は未達成であった。 次年度は、徐々に支部活動の拡大に向けて取り組む必要がある。	
事業項目	事業内容	
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 一般教育研修 (1) 教育委員会 ① 教育委員会企画研修会 未実施 (2) 看護研究指導 1施設 未実施	
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会主催の事業への協力 (2) 看護職の人材確保・就業支援 ① 看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 アピール動画作成(中高生対象)は、看護学校へのアンケート依頼を準備中である。ポスターの作成は未実施	
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護の日及び看護週間行事開催 2) 「まちの保健室」開催 3) 「国際助産師の日」事業「いいおさんの日」イベント 4) 進路相談実施 (各施設・まちの保健室) 5) 地域連携推進委員会企画研修会 6) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 在宅療養支援のための看護職連携推進研修会	未実施 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 講演会(支部集会后) 未実施	
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1) 支部組織強化に関する事業 (1) 支部活動の充実 ① 地域会議への出席 8回 ② 看護学校関連事業参：祝電(戴帽式・卒業式・入学式) 2) 組織運営に関する事業 (1) 支部役員会 4回 (2) 支部委員会 ① 職能委員会 4回 ② 教育委員会 4回 ③ 推薦委員会 4回 ④ 地域連携推進委員会 4回 ⑤ 選挙管理委員会 3回 3) 広報活動事業 (1) 県協会「きらめき」への投稿	

宇部支部事業報告

支部長 牟田薫

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
評価と今後の課題	支部集会及び教育研修は感染対策を徹底し開催することができたが、教育研修の参加者は少なかった。感染状況を見ながら会員のニーズに沿った研修を企画していきたい。対面での健康相談・啓発等の事業(まちの保健室)に代わり健康に関するパンフレットを配布したが、好評であった。引き続き効果的な方法を検討する。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会(教育職能合同) ①R4.7.23:「摂食嚥下障害とは 看護のきほん」 講師: 山口大学医学部附属病院 中村由子 摂食・嚥下障害認定看護師 出席者: 39人 ②R4.11.12:「実践できる、できる!気持ちに寄り添う認知症看護」 講師: 宇部リハビリテーション病院 児玉悦子 認知症看護認定看護師 出席者: 14人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室・助産活動:今年度開催中止 10月～3月:健康手帳等とマスクをセットしたものを保健センターとフジグランの宇部市の健康ブースに配置(計350セット) 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(小野田支部と合同) 医療圏別訪問看護実践研修検討会 第1回検討会 R4.6.4 出席者8人 第2回検討会 R4.10.14 出席者10人 第3回検討会 R5.2.10 出席者8人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)教育職能合同研修会:R4.7.23(土) 教育委員と合同で実施 ①R4.7.23:テーマ「摂食嚥下障害とは 看護のきほん」 講師: 山口大学医学部附属病院 中村由子 摂食・嚥下障害認定看護師 出席者: 39人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部役員会 6回開催(うち1回は書面会議) 2)支部委員会 教育委員会 5回 推薦委員会 1回 3)支部集会 R4.7.23(土) 出席者: 15人 委任状: 1828人 4)その他 (1)看護学校入学式・卒業式祝電、戴帽式出席 (2)地域会議への出席 ①新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 R4.4.21 オンライン会議 ②宇部市防災会議 R4.5.24 ③宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 R4.6.17 書面開催 ④新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 R4.9.16 オンライン会議 ⑤新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 R4.10.27 オンライン会議 ⑥宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 R4.11.29 オンライン会議 ⑦宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 R5.2.9 オンライン会議 (3)広報活動 ①県協会「きらめき」へ投稿

小野田支部事業報告

支部長 土井直子

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止で、延期や中止となるものもあった。教育研修会は、企業の共催をせず、病院の施設がホストとなり実施したが、慣れないことも多く、個人登録者が参加できないこともあった。オンラインは、自宅でも参加できメリットも大きいですが、その点では、課題が残る。地域の動画投稿参加では、編集作業に時間を要したが、音楽を含め著作権の問題等で作成どおりにいかず、満足が得られない結果となった。対面による事業内容を実施可能な方法に計画を修正変更して今後も取り組むことが課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 1回(教育委員会) R5.2.9(木)17:30~18:20 「せん妄～薬物療法と非薬物療法について～」 講師：山口労災病院 認知症看護認定看護師 原川真由美先生 受講者：116人(参加施設9施設・個人登録15人 アンケート回答数、その他4人含む)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職の健康増進促進事業 「SOS健康フェスタ」に感染予防のための手指衛生、看護職の写真、展示ブース設置(健康手帳リーフレット等)
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」行事：中止 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事：中止 3)「まちの保健室」：中止 4)山陽小野田市「第13回SOS健康フェスタ」のオンラインイベントへ動画を投稿 (YouTubeでイベント期間中配信) 動画内容：感染予防のための手指衛生、看護職の写真、展示ブース設置 5)看護体験実施：実施可能な施設で実施 6)在宅療養支援に係る看護職の連携推進強化事業(宇部支部と合同) (1)検討会 3回 (2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 実施せず
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部交流会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R4.7.23(土)出席者 18人 委任状 532人 2)支部役員会 5回 3)支部委員会 (1)教育委員会 4回 (2)職能委員会 4回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 4)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(オンライン会議・書面会議含む) ①山陽小野田市健康づくり推進協議会 1回 ②宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議(オンライン会議2回) ③山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会 3回 ④山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携システム部会 2回 ⑤宇部・小野田保健医療圏 圏域会議 1回 ⑥新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

長門支部事業報告

支部長 石井恵子

活動目標	地域包括ケアにおける看護職の連携を強化する 地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月～「5類」への引き下げ予定であるが、支部内においては、クラスター対応に追われている状況がある。支部活動においても、集合しての活動は控えており、オンラインの活用などにより、様々な活動をどう展開していくか模索しながらの1年であった。長引くコロナ禍において、会員相互の交流会等も開催できない状況であり、課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育 12月(医療職にとって求められる基礎的マナーと危機的状況…146人)・3月(看護実践のためのリフレクシントレーニング…100人) 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導 R4.7.15(金)・11.25(金)オンラインにより実施 (2)支部看護研究発表会 R5.3.17(金)17:45～19:00 3年ぶりに開催 オンライン開催 6題発表 61人参加
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 焼き菓子+「看護職のあなたのストレスコーチング」のリーフレット等を配布 2)看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議と在宅療養支援に関する研修 R4.12.2(金) 12人参加
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」および「看護の心」 看護の日・看護週間に、各施設で実施 長門市ケーブルテレビにおいて、「熱中症予防」についてクイズ形式で出演 2)まちの保健室 市内ふるさと祭り等の中止に伴い、自粛 3)国際助産師の日事業 自粛 4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 R4.8月 検討会(書面会議) R4.10.28(金)防災対策 28人 R4.11.11(金)感染対策 31人 R4.12.2(金)訪問看護 12人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	地域の看護職員交流会 実施見合わせ 支部会員238人に対し、焼き菓子+「看護職のあなたのストレスコーチング」のリーフレット+「マスクの下は笑顔」メッセージカード+折り紙・羽ばたく鶴とちょうちょ を配布
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R4.7.21(木) 会場2か所でオンラインにより開催 参加9人+委任状200人 (1)地域会議への出席 ・R4.7.8 長門市高齢者保健福祉推進会議 ・R4.8.25 健幸ながと21推進協議会 ・R4.9.21 長門市自殺対策推進協議会 ・R4.10.16 長北医学会 ・R5.2.13 長門医療圏地域医療構想調整会議 ・R4.3.13 ながと健幸百寿プロジェクト専門会議 2)支部役員会 R4.4.28実施 3)広報活動 (1)県協会 「きらめき」への投稿 9月 (2)支部広報誌「ふれあい」 7月発行

萩支部事業報告

支部長 田中好江

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化と課題解決に取り組む 2)看護職として地域活動を通じ地域住民の健康向上に貢献する
評価と今後の課題	コロナ禍において、いかに感染対策を講じながら、活動していくかを役員会の中で協議し実施した。まちの保健室では、3年ぶりに開催されたふるさと祭りにおいて、対面ではないが、会場にてチラシ等を置き実施できた。 また、合同研修会においても、オンラインにて実施し、研修会終了後に会員の交流及び福利厚生を目的とした渉外活動もオンラインにて実施できた。 次年度は、さらに地域へ支部活動が発信し展開してけるようにと考えている。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員・職能委員の合同研修会 1回 R5.3.25 オンラインにて開催 テーマ：予測不能な時代に必要なレジリエンス ～しなやかに心を育てる～ 講師：オフィスナースナレッジ代表 江口智子先生 参加者：36名
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程設定し実施 各施設で実施 2)まちの保健室開催 3回実施 3)国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 中止 4)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)研修会に参加：1回 5)進路相談 (1)各施設で実施 6)その他の事業 (1)地域行事での救護協力 特になし
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部交流会・親睦会 R5.3.25、合同研修会後にオンラインにて開催 参加者：158人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部集会 R4.7.29 2)支部役員会 6回開催 3)3職能合同会議 4回開催 4)渉外・広報委員会 2回開催 5)広報活動 県協会報「きらめき」への投稿

下関支部事業報告

支部長 小山亜弥

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
評価と今後の課題	コロナ禍にあり、研修会や地域のイベント等実施できていない状況である 地域の状況や会員の要望等を踏まえ、今後の活動を検討していきたい
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催) ハイブリッド方式、33人参加 (1)R4.3.8「高齢者のフィジカルアセスメント～不調のサインを見逃すな～」
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援→未実施 (1)看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対して進路・就業相談 (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業(下関地区・豊浦地区) (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)R4.5.21「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)年9回→未実施 (2)地域行事での救護協力予定(R4.10.29・30日本遺産フェスティバルin関門4人、R4.11.6海峡マラソン32人、R4.11.20歴史ウォーク1人) 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会 R4.6.30、9.30、R5.1.31 (2)研修会R4.11.30「認知症高齢者の在宅療養をどう支えるか」41人参加
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会(職能委員会主催) R4.4.22「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症」59人参加 (2)会員交流会→未実施
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部役員会 R4.6.6、7.22支部集会、8.30、10.14、11.30、R5.1.30、3.20 (2)支部委員会 ①職能委員会 R4.11.25、R5.1.17 ②教育委員会R4.10.5、11.16、R5.1.31、3.1、3.8 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 ①R5.2.2 下関市防災会議 ②R5.3.2 下関医療対策協議会 (2)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿(10月) ②県協会ホームページへの投稿 (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける →未実施

令和4年度 職能委員会活動報告

I 保健師職能委員会

委員長 菊池実代

1 活動目標	<p>1) 保健師の連携強化及びネットワークの推進 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3) 活動の啓発および会員増加の推進</p>
2 委員会開催	<p>委員会開催：10回 支部保健師職能委員合同会議：2回</p>
3 活動内容	<p>1) 保健師の連携強化及びネットワークの推進 (1)保健師職能集会の開催(R4.6.25) (2)保健師職能交流会の開催(R4.11.5) (3)保健師職能委員会の開催 (4)支部連携としての合同会議の開催 R4.11.5県職能委員7人、支部職能委員8人出席 R5.3.18県職能委員5人、支部職能委員7人出席 (5)会報やホームページによる情報発信 ひたむきな保健師掲載 6月、10月、新年号</p> <p>2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 (1)R4.6.25(オンライン開催) ○講演「こころの元気を保つヒント～保健師のみなさんありがとう～」 講師 山口県公認心理師協会 産業・組織領域委員会理事 篠田光臨先生 (2)R4.11.5 ○講演「コロナ禍における保健師活動に期待すること」 講師： 山口県防府保健所 山口県新型コロナウイルス感染症対策室 原田昌範先生 ○グループワーク「コロナ禍での保健師活動～現状と思い～」 「これからの保健師活動～保健師として大切にしたいこと～」</p> <p>3) 活動の啓発および会員増加の推進 (1)保健師職能集会や研修会の開催 (2)中高生向け保健師PRリーフレットの作成 (3)会報やホームページによる情報発信(ひたむきな保健師掲載 6・10月、新年号)</p>
4 評価と今後の課題	<p>6月の保健師職能集会は、感染症対策上、オンラインで3年ぶりに開催した。まだまだコロナ対応に追われている現場では、業務の合間に職場からの参加もあった。長引くコロナ禍で職場以外の人と話す機会がなく、「話すことで元気になった。どんな形でも続けてつながることが大切」という意見が多かった。また、11月の保健師交流会では、コロナ感染状況の波の合間に集合形式で実施、グループワークも行った。コロナにより人との直接的な関りを変更せざるを得ない状況下、保健師活動の目的を再考するとともに、ICTの活用で活動方法も広がる等、今後のウィズコロナ時代の活動について、人材育成を含めて情報交換しながら取り組んでいきたい。</p>

令和4年度保健師職能委員会支部活動報告(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

会員数は2月末現在

保健師会員数	令和4年度支部活動報告		新型コロナ対応で新たに他機関の保健師や看護職と連携した活動		コロナ禍でも保健師活動を可能とする現場における工夫や取組み	
	研修・交流会等	まちの保健室	他機関保健師や看護職と連携がうまくいった取組み、連携する上で困ったこと	コロナ禍で保健師のネットワークおよび組織強化について工夫していること、今後必要な取組み		
岩国 62	1	<p>【コ・メディカル共催研修会】 令和4年11月17日(木) 19:00～20:30 テーマ：ときどき入院。ほぼ在宅 方法：事例をもとに多職種によるグループワーク ファシリテーター：いしいケアクリニック 原田唯成 院長</p>	<p>コロナ流行により、イベントへの参加は中止とした。</p>	<p>・会議や打ち合わせなどをオンラインで行うことが、対面と同レベルでひとつの方法になり、オンラインの体制が整いつつある。が、直接顔を合わせる機会は確実に減っている。 ・コロナの入退院調整において、医療機関や訪問看護ステーションから早急な情報提供をいただいたり、病棟や連携室の看護師との連携を通じて、入院中から退院を見据えた関わりを目指した。また、施設の看護師と、感染対策に関する相談を通じて、密なやりとりができた。</p>	<p>・コロナの疫学調査や自宅療養患者への対応、一般住民からの相談など、コロナ対応自体がOJTにもなったのではないかと。コロナや通報対応など緊急対応をしながらも、新任期地域保健関係職員研修に、新規採用職員は真摯に取り組み、またそれを課全体でバックアップすることができた。</p>	<p>・コロナ対応において、所内他課の協力を得てローテーション勤務ができています。また、特にコロナの事務仕事や精神通報の運転業務などは、保健師以外でもできるようにマニュアル化するなど、所内でのマネジメント業務が行われた。 ・コロナの在宅療養患者の健康観察について、訪問看護ステーションや医療機関に一部担っていただくことで、気になる人の連絡を早めにもらったり、同居家族も一緒に見てもらうことができたりと、重症化を予防する看護職ならではの視点をもった連携ができた。 ・今年度は、感染リスクをできるだけ低くしたうえで、教室や集いなど、複数人が集まる事業を再開した。今後は、感染対策を十分に行いながらも、保健師活動の取り組みを再開し、より良いものにしていけるとよい。</p>
柳井 45	1	<p>・3支部合同看護マネジメント研究会を実施 R5.2.4(土)</p>	<p>・手指衛生に関するリーフレットとアルコール消毒液の店舗設置、啓発活動を実施。</p>	<p>・オンラインだけでなく、対面での研修会や検討会議等の開催が増えてきた。医療機関へ足を運んでケース検討を実施する機会も増えた。</p>	<p>・オンラインで研修を受講し、研修の機会の維持を図った。</p>	<p>・教室の開催にあたっては人数制限を設けながら開催を継続した。人数制限を設ける代わりに教室の回数を増やしたり、キャンセル枠については別日で個別相談日を設けた。</p>
周南 53	1	<p>【研修会】 一般教育・職能合同研修会 日時：11月26日(土) 場所：徳山医師会病院 開催方法：ハイブリット研修 講師：徳山中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 原田清美先生 内容：「褥瘡ケア～外用薬の選び方と使い方～」 参加者数：83人(会場22人、オンライン61人)</p>	<p>【令和4年度計画】 新型コロナウイルス感染症の流行以降、対面での実施が難しい状況が続いている。今までの「まちの保健室」に変わる活動を話し合い、昨年度と同様にコロナワクチン接種会場でチラシ等啓発資材を活用した啓発活動を行った。</p>	<p>研修や会議などが中止になり、オンラインでの開催に変更になったり、直接顔を合わせる機会が減ってしまった。</p>	<p>顔を合わせる機会は減ってしまったが、必要時に電話での情報交換等を行っている。オンラインでの研修については、多数の保健師の参加が可能であるため、積極的に受講している。コロナ禍でも研修会や会議など実施し、顔の見える関係づくりができるとよい。</p>	<p>密にならないために、人数制限や予約制にする、広い部屋で実施するなど感染対策を行い、継続実施できるように事業の見直し等を行い、実施している。また、流行状況に応じた対応を図っている。</p>

	保健師会員数	職能委員会の保健師数	令和4年度支部活動報告		新型コロナ対応で新たに他機関の保健師や看護職と連携した活動		コロナ禍でも保健師活動を可能とする現場における工夫や取組み
			研修・交流会等	まちの保健室	他機関保健師や看護職と連携がうまくいった取組み、連携する上で困ったこと	コロナ禍で保健師のネットワークおよび組織強化について工夫していること、今後必要な取組み	
防府	39	1	<p>【研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防府支部看護研修会（三職能合同研修会） 「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」 日時：令和4年11月15日 講師：防府保健所所長 原田昌範先生 内容：講演、グループワーク 	保健師職能の出務なし	感染者が急増した時期には、保健所の応援派遣に交代で出務した。	他機関の保健師との交流がないため、市内で活動されている保健師との交流の場があるとよい。	<ul style="list-style-type: none"> ①感染症対策(3蜜の回避・換気・注意喚起・消毒等)を徹底して、健診・相談会・教室の託児等は人数を制限している。 ②zoomの研修の活用 ③保健師自身の感染症対策・体調管理
山口	93	1	集合研修・交流会等の実施はなし。	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の活動「まちの保健室」は中止。代替案として、コロナ対策に関するリーフレットを作成。(配布時期、配布場所は未定) ・R3年度から引き続き、中高生向きの看護職(保・助含む)に就くための進路紹介動画作成中。支部内養成施設へ動画作成に係るアンケートを実施。動画には各職能へからのコメント掲載予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所派遣業務の際、県、市、看護協会等、他部署の保健師間での情報共有、連携が行えた。 ・医療機関、関係機関との会議がオンラインで行えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Zoomの活用などによりオンラインで会議が行えるようになり、複数の参加がしやすくなった。 ・県外研修もオンラインやオンデマンドで実施されるなど受講しやすくなったため、受講希望者が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策として、人数制限や予約制などを導入。 ・電話やメール、アプリを活用したオンライン相談の実施。 ・アプリやLogoフォームを活用した講座の申し込みやアンケートの実施。 ・健康教育について、会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催。 ・健康教育について、HP上に動画を掲載。インスタグラム準備中。
宇部	51	1	<p>【研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 宇部支部教育・職能合同研修会 日時：令和4年7月23日(土) 11:00~12:00 内容：「摂食・嚥下看護について」 講師：山口大学医学部附属病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 中村由子先生 	保健師職能の出務なし	感染者が急増したときには、市町や看護協会、大学、医療機関等が保健所の応援派遣に交代で出務した。	委員は主に行政に在籍する保健師で構成されている。市は所属部署が多岐にわたっているため、一堂に会しての情報共有、交流の機会が少なく、検討機会が少ない。コロナ禍でもオンラインでの研修機会は確保できたと思うが、今後は、顔のみえる関係づくりができるとよい。	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策に留意しながら、行事参加を予約制にしたり、方法を見直し、内容を充実させることで短時間でも有意義な活動ができるように工夫。会議や研修会の際、オンラインを活用する取り組みが増えた。 オンライン等を活用し、ファイルを共有することにより、円滑に情報共有することが可能となり、共通事項の確認等、一定の成果を得ることができた。

	保健師会員数	職能委員会の保健師数	令和4年度支部活動報告		新型コロナ対応で新たに他機関の保健師や看護職と連携した活動		
			研修・交流会等	まちの保健室	他機関保健師や看護職と連携がうまくいった取り組み、連携する上で困ったこと	コロナ禍で保健師のネットワークおよび組織強化について工夫していること、今後必要な取り組み	コロナ禍でも保健師活動を可能とする現場における工夫や取り組み
小野田	37	1	【研修会】 職能委員会としての研修会は開催なし。教育委員会が開催した研修会(2/9 テーマ「せん妄～薬物療法と非薬物療法について～」オンライン開催)に参加。	中止 (市が開催するSOS健康フェスタにまちの保健室として参加予定だったが、県看護協会の方針に合わせ参加は中止とし、オンラインでの感染症対策及び看護職の仕事のPRの動画投稿を行った)	・新型コロナの集団接種では在宅看護師等の協力を得て実施した。 ・コロナ感染者が急増した際には保健所の応援に交代で出務した。	必要時に電話での情報交換を行っている。	今年度はコロナ禍においても感染対策を十分にしながら、様々な取組を実施している。各保健事業等は事前予約制として人数制限を行ったり、参加前の体調管理のチェックの強化などをはじめとする感染対策の実施。また、保健師自身も感染対策の徹底と日ごろからの体調管理をしっかりと行い、体調が悪いときは無理をせず、協力し合う体制をとっている。
長門	17		保健師職能研修会は開催なし。協会員に限らず、市保健師全体で毎月定例の会議があり情報交換等行ってる。		オンライン会議の開催や今までどおり電話連絡等で連携に努めている。		感染対策より、住民の方が安心して行事に参加したり、家庭訪問を受けることができるよう配慮している。
萩	29		【教育委員・三職能合同】 (萩支部研修会と合同) 日時：R5.3.25(土) 講師：江口智子氏(オフィスナースナレッジ代表) 内容：「予測不能な時代に必要レジリエンス」 方法：オンライン 【職能委員会】 支部役員会等に併せて随時開催。	介護予防市民講座(9/25)、萩ふるさとまつり(11/11.12)にて特設ブースを設置、グッズ配布。	感染症予防をテーマに圏域の医療・介護・福祉関係者を対象に研修会・グループワークを実施。県健福の協力も得ながら一緒に圏域の課題解決に向けて取り組んでいる。	地域ケア会議や研修会、打ち合わせ等はzoom、Teams等のオンラインを活用。多職種研修会は感染状況によりオンラインor参集型とし、後日動画配信することで、より多くの参加(視聴)できるよう工夫している。多職種間でタイムリーな情報連携ができるツールを検討中。	感染状況を見ながら、オンラインor現地参集型を併用しながら実施。オンラインの活用(研修会、会議等)関係機関の専門職や住民にもオンラインに慣れてもらうよう研修会申込やアンケート等はGoogleフォームを活用している。住民啓発用(感染対策)リーフレットを作成・配布したり、情報発信としてHP掲載、メディア等の活用。
下関	51	1	「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症」(三職能合同研修会) 日時：令和4年4月22日(金) 講師：JCHO下関医療センター 感染管理認定看護師 坪根淑恵先生	無し	・コロナ陽性者に対応できる訪問看護ステーションが限られていた時期は、コロナ罹患によって訪問看護が中断されたケースに対し、対応可能な他の訪問看護ステーションを調整した。	・複数の職員が交代で業務に従事するため、変更事項やインシデントのタイムリーな共有を行っている。 ・どの職員でも滞りなく業務遂行できるよう定期的なマニュアルの更新やジョブローテーションを行い、一連の流れが体得できるような体制を組んでいる。	・オンラインによる研修や教室を実施している。 ・感染状況に応じて、感染対策を講じた小規模での教室等を実施している。 ・既存の健康づくり団体と協力した活動の推進をしている。

II 助産師職能委員会

委員長 塩道敦子

<p>1 活動目標</p>	<p>母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記活動を通じて助産師ネットワークを強化する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産実践能力の向上 3) 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 4) 災害時の対応 5) 広報活動 6) 4職能委員会との連携強化
<p>2 委員会開催</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会 6回(R4.5.12、7.8、9.2、10.14、12.9、R5.2.16) 2) 支部職能委員長合同会議 2回(10月、2月)
<p>3 活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 全国並びに中四国ブロックの職能委員長会議、母子のための地域包括ケアシステム推進会議、院内助産・助産師外来推進フォーラムを活用し情報収集・共有、県の現状報告 2) 助産実践能力の向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新人助産師研修 6回 受講者：新人助産師16人 (2) 中堅助産師研修 4回 受講者：74人 (3) 管理者交流会：助産師出向事業で実施したため職能委員会では開催なし。 (4) CLoCMiP[®]の導入・活用の推進 3) 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 院内助産システムの推進に向け委員会、支部合同会議でガイドラインの周知をした。アドバンス助産師を目指し、助産師出向システムの活用を推進した。 4) 災害時の対応 防災や災害(コロナ対策含む)について支部合同会議の中で情報共有を行った。 5) 広報活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) イベントでの助産師の普及活動 <ol style="list-style-type: none"> ① 看護の日・国際助産師の日 ② いいお産の日：コロナ禍で開催しなかった。 ③ 就職フェアに参加した。 (2) ホームページ等へ記事投稿 研修報告ときらめきへ記事を投稿した。 6) 4職能委員会との連携強化 在宅ケア推進委員会において、4職能委員会と地域包括ケアシステムについての情報共有と課題を話し合った。
<p>4 評価と今後の課題</p>	<p>予定していた委員会と研修会は感染対策を講じて実施することができた。しかし、一般市民向けの広報活動は、実施できなかった。COVID-19の5類への移行状況によっては、広報活動等が再開できると期待する。また、母子も含めた全世代対応の地域包括ケアシステムの推進のために、4職能委員会と引き続き連携を図る必要がある。 助産能力の向上に努め、地域に発信できるシステムの再考が喫緊の課題である。</p>

令和4年度 助産師職能委員会活動報告

委員長 塩道敦子

母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記の6つの活動を通じて助産師ネットワークを強化した。

【令和4年度助産師職能委員会活動目標】

- 1 周産期医療の現状と課題の把握
- 2 助産実践能力の向上
- 3 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用
- 4 災害時の対応
- 5 広報活動
- 6 4職能委員会との連携強化

1 令和4年度助産師職能集会報告

令和4年6月25日（土）助産師職能集会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら15人が参加した。藤谷常務理事より、令和3年度山口県職能委員会事業報告、助産師実践能力向上研修報告と、令和4年度日本看護協会通常総会、山口県看護協会助産師職能委員会事業計画について報告があった。また、助産師実践能力向上研修として、伊藤美佐江先生による「助産実践に活かす倫理」を開催した。

2 助産実践能力の向上

1) 新人助産師研修（CLOCMiP® 研修対象の公開講座を実施）

目的：助産学教育からの継続教育により、新人助産師の臨床助産実践能力の向上および助産師の人材育成を図る。

第1回（令和4年7月30日） 開講式

新人助産師16人を迎えて1年間の研修の開講式を開催した。



公開講座 CLOCMiP®レベルⅢ認証研修 新生児のフィジカルアセスメント	山口大学医学部附属病院 小児科医師 松隈知恵氏	新人助産師 16人
新人助産師、いきいき、たのしく働こう	山口県公認心理師協会 理事 公認心理師・臨床心理士 杉浦崇仁氏	

新生児の特殊性をふまえた全身観察のポイントについて学ぶことができ、母親に対してどのように説明できるかも知ることができた。また、公認心理師の先生からは、働く目的を明確に持つことが働き甲斐に繋がるため、助産師を目指した動機を時折、思い出し原点に返ることが大切だと学んだ。受

講生からは、「仲間づくりの時間もあってよかった」との感想が多く、リアリティーショックや処理能力の限界、人間関係など様々な困りごとが生じる中でどのように考え、対処できるのか考える機会となった。

第2回（令和4年8月20日）

公開講座 CLOCMiP®レベルⅢ認証研修 CTGモニタリング判読	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長 佐世正勝氏	新人助産師 15人
陣痛促進剤使用の適応と管理		

実際の胎児心拍波形図を用いながら、判読、その根拠や注意点について学んだ。また、分娩誘発や促進で扱う子宮収縮薬の使用法や留意点について、ガイドラインに沿って講義があり、基礎知識を得るとともに、新しい頸管熟化剤は興味深いものであった。受講生アンケートから、研修理解度が高く、今後の業務の活用についてできると回答したものが100%であった。

第3回（令和4年10月29日）

母乳哺育支援	山口県助産師会 桶谷式認定助産師 藤田房子氏	新人助産師 16人
--------	---------------------------	--------------

「乳房の解剖生理」「母乳の栄養学」「産褥早期に起こりやすい乳房トラブル」「母乳育児支援」について学んだ。乳房模型や、ゆで卵を使用した搾乳手技を体験し、自分たちが行っていた搾乳圧のかけ方を振り返ることができた。「見よう見まねで行っていたことが根拠をもって実施することができ、お母さんへの声かけに自信がもてるようになった」「母乳哺育や育児が楽しめるように専門的知識や技術を習得していきたい」との感想があった。NICUやGCU、産科病棟に配属された新人看護師の受講希望があり、今後は公開講座を検討したいと考える。

第4回（令和4年12月17日）

公開講座 CLOCMiP®レベルⅢ認証研修 緊急時の対応	山口大学医学部附属病院 医師 前川亮氏	新人助産師 15人
新人助産師対象研修 緊急時の対応の実際		

午前は公開講座 CLOCMiP® レベルⅢ認証研修とし、急変の感知に必要な知識を学習後、心肺蘇生時に必要な手技（バッグバルブマスク、AED、胸骨圧迫）を実践し、産科で遭遇する急変時の症例（羊水塞栓、弛緩出血、肺塞栓）でシミュレーション学習を行った。午後は引き続き新人助産師対象研修として、産科で遭遇する急変時の対応を症例（アナフィラキシーショック、意識障害：痙攣、心肺停止：羊水塞栓）を繰り返し実践した。参加者より「産科的処置に目が向いてしまうが、全身状態の観察が大切だと学んだ」「繰り返し学習しないと、いざという時に動けない内容なので公開講座で参加できて良かった」「事例を通して学習・実践することでより緊張した空気感を疑似的に感じた。怖さがより強くなったが、いつ起こるか分からないからこそ臨床での急変の遭遇に備えて自分がやるという意識をもち定期的に学習し実践できるようにしていきたい」などの感想があった。



第5回（令和5年1月14日）

臨床病態生理の基本 公開講座 CLOCMiP [®] レベルⅢ認証研修 妊娠と糖尿病	済生会下関総合病院 産婦人科医師 品川征大氏	新人助産師 14人
--	---------------------------	--------------

妊娠に伴う母体の生理学的変化、胎児の生理学、産科合併症の病態などについて講義があった。臨床を想定した講義内容であり、病態生理の理解を深めることで異常の早期発見や緊急時の対応に繋がると再認識できた。午後からは、CLOCMiP[®]レベルⅢの研修も兼ねており、妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠に対する、妊娠期・分娩期の管理について糖尿病診療ガイドライン等様々な資料をもとに講義があった。また、精神的フォローや継続した産後支援の重要性を改めて実感し、新生児の病態・ケアに関しても学びを深める機会となった。

第6回（令和5年2月18日）閉講式

事例発表会「心に残った場面」	山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻 准教授 亀崎明子氏	新人助産師 16人
----------------	----------------------------------	--------------

今年度の事例発表会は、4題ずつ発表した後に、各発表内容に対して意見交換の時間を設け、リフレクションを行う形式とした。4つのグループにわかれ、各グループに1人職能委員がファシリテーションにつき、検討結果を発表し合った。続いて、講師より1人1人の発表に対し、丁寧な講評を頂き、自分の看護を振り返ることの大切さを学べた。ひとつの事例に対し皆が真剣に向き合い、活発な意見交換ができ、妊娠期から分娩、産後に至る事例を学び合え、1年のまとめとなる有意義な事例発表会となった。

閉講式では、「新人助産師同士、横のつながりも大切にしたい。それぞれが目指す助産師像に向け、共に高め合いながら日々成長していきたい」と、力強い決意を聞くことができた。



2) 中堅助産師研修

第1回（令和4年6月25日）

助産師実践に活かす倫理	山口大学大学院医学系研究科 保健学領域 教授 伊東美佐江氏	助産師 9人
-------------	----------------------------------	-----------

倫理的感応力は、助産師のコア・コンピテンシーの4つの要素の中で、必須の基礎的能力である。社会が多様化する中で、助産師として様々な倫理的問題について、どのように考え、対応するのか取り組む必要性を再認識した。さらに、意思決定支援のツールを学び、実践に即した研修会であった。

第2回（令和4年11月19日）

CLoCMiP [®] レベルⅢ申請認証研修 臨床病態生理	山口大学医学部 産婦人科医師 村田晋氏	22人
---	------------------------	-----

最新のFGRの定義や管理方針、妊娠高血圧症候群の新しい定義、分類、リスク因子について講義があった。さらに、生殖補助医療がHDPのリスク因子の一つであると学び、高齢初産、生殖補助医療での妊娠出産が増加している現在において、合併症のリスクを意識した妊娠出産、分娩管理、看護をする必要があると感じた。また、大量出血、DICのリスク因子となる常位胎盤早期剥離やHELLP症候群、羊水塞栓症、前置胎盤、癒着胎盤など多岐にわたる内容を、ブラッシュアップできた。最後に双胎間輸血症候群（TTTS）のレーザー治療の貴重な動画を視聴し、最新の胎児治療に感動するとともに、助産師に求められる役割への変化に対応できるよう研鑽をつみたいと感じた研修会であった。内容が多岐にわたるため、1日研修を希望する参加者が多く、来年度検討する。

第3回（令和5年1月14日）

CLoCMiP [®] レベルⅢ申請認証研修 臨床推論	西南女学院大学保健福祉学部看護学科 助産別科長 田中満由美氏	28人
---	-----------------------------------	-----

「基本的概念」「助産における臨床推論の意義」「臨床推論に用いる基本的診断技術」「症候診断のプロセス」についての講義内容であった。助産師に必要な臨床推論力として、産科的な診断については医師の臨床推論を共有し、患者の「訴え」「急変」場面での効率の良い情報収集、経過の把握、医師への報告、経験を通して身につけることの必要性を学ぶことができた。「先生の臨床経験での事例を通し、日常的に業務のなかでアセスメントをしていることが臨床推論であり、適切にアセスメントしていくことが正常逸脱の判断につながるということを教えていただいた。患者のそばに常にいる助産師にしか気づけないことも多く、その責任の重大さも改めて感じた。」と臨床推論を難しくとらえていたが、理解につながったとの感想が多くあった。

第4回（令和5年3月11日）

CLoCMiP [®] レベルⅢ申請認証研修 不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	徳山中央病院 産婦人科部長 山縣芳明氏	15人
---	------------------------	-----

不妊・不育症、生殖補助医療の実際、副作用や問題点に関する具体的な講義内容であり、日々の臨床を振り返る良い機会となった。また、ロールプレイングを交え、臨床で経験する可能性のある場面を想定した内容で、実際にイメージしながら学びを深めることができた。



3) 公開講座の参加状況

新人助産師研修内において、CLOCMiP[®] レベルⅢ申請認証研修となる公開講座を設け、開催した。参加者数は表の通りであった。中堅助産師研修と合わせみると、病態生理に関する講義への参加者が多く、臨床でのニーズが浮き彫りとなった。

	開催月日	科目	参加者	
			助産師	看護師
第1回	令和4年7月30日	新生児のフィジカルアセスメント	6	6
第2回	令和4年8月20日	CTGモニタリング判読	7	3
第4回	令和4年12月17日	緊急時の対応	14	4
第5回	令和5年1月14日	妊娠と糖尿病	28	3
合計参加者			55	16

4) 公開講座および中堅助産師研修の参加者状況

どの研修においても、受講動機は、「知識を得るため」「CLOCMiP[®] レベルⅢ認証のため」「課題や疑問の改善、解消のため」の順に多かった。「新生児のフィジカルアセスメント」「CTG モニタリング判読」は、経験年数20年未満の参加者が多くを占めていた。「緊急時の対応」「臨床病態生理」「臨床推論」は経験年数20年以上が増えており、ブラッシュアップ研修に期待するニーズがあることがわかった。

Ⅲ 看護師職能委員会 I

委員長 池田早苗

1 活動目標	<p>1)看護実践能力の向上 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 4)広報活動・会員増加の推進 5)日本看護協会との連携</p>
2 委員会開催	<p>1)職能委員会回数 計画9回(1回はオンライン) 2)支部看護師職能 I 委員との合同会議 3)看護師職能委員会 I・II 合同会議 計画9回中5回実施</p>
3 活動内容	<p>1)看護実践能力の向上 (1)クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 ・クリニカルラダーの活用の現状調査を実施 ・クリニカルラダーの活用の現状の調査結果の報告と導入2施設の現状報告および情報共有目的として研修会を開催 ・今後の課題の抽出 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携 (1)在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 ・それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組みについて情報共有と意見集約を実施 (2)看護師職能委員会 II との連携強化 ・合同会議を6回実施し、各委員会の活動について情報共有と意見交換と理解を深める 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 (1)支部及び看護師職能 I 委員との合同会議 ①地区別看護師職能 I 委員長会にて情報共有と意見交換を行う 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能研修会(R5.2.16開催) 「JNAクリニカルラダーの推進に向けての人材育成研修」参加者数 46人 (2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 5)日本看護協会との連携 (1)全国看護師職能 I 委員長会議1回参加、情報交換・共有を図る (2)地区別看護師職能 I 委員長会議1回</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)JNAクリニカルラダーの活用と推進に向けて、進捗状況の現状把握後の課題への支援について検討 2)地域包括ケアシステム推進に向け、4職能委員会が連携上の課題抽出と連携の強化</p>

令和4年度 看護師職能委員会 I（病院領域）活動報告

委員長 池田早苗

令和4年度、看護師職能 I 委員会では、看護実践力の向上と地域連携の強化を目指し、以下の活動目標を掲げ活動を行った。

活動目標

- 1 看護実践能力の向上
- 2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携
- 3 支部看護師職能 I 委員との連携強化
- 4 広報活動・会員増加の推進
- 5 日本看護協会との連携

1 看護実践能力の向上

令和2年度に JNA ラダー導入の現状調査を行っているが今年度は、現状把握を行うことを目的とし病院139施設、訪問看護154施設へアンケート調査を実施した。その結果報告と、導入施設の現状報告を行い、その内容をふまえ、グループでのディスカッションを実施した。

1)研修日時 R5.2.16日（木曜日） 13：00～16：30

2)参加人数 46人

3)研修内容

(1)JNA ラダーの推進に向けての人材育成研修

「JNA ラダー導入後の現状と今後の課題」

・看護師職能1委員長 池田早苗

「導入から現在までの報告2施設」

・萩市民病院 副看護部長 中村麻衣

・三田尻病院 看護師長 河田美絵子

「グループディスカッション」

4)研修後のアンケート結果

(1)アンケート回収率 100%

(2)参加者 看護部長・副部長13% 看護師長・副師長26% 主任20%
その他39% 無記名2%

(3)ラダーの存在について

①理解している：20人 ②知ってはいる：21人 ③聞いたことはある：2人

④知らない：2人 ⑤無記名：1人

(4)ディスカッションの有意義の有無

①大変有意義：28人 ②有意義：15人 ③あまり有意義でない：3人

④有意義でない：0人

(5)ディスカッションの内容

①なぜ導入できない？導入しているが問題は？

- ・何のためにやるのか、理解ができない
- ・自己申請をしない、自己研鑽をしない
- ・訪問看護は大半がラダーの存在を知らない
- ・教育しようとする風土がない など

②導入するにはどうしたら良い？

- ・スタッフへの周知
- ・メディカルサポートの活用等のネット環境作り
- ・看護の質の担保であり、評価することやランク付けが目的ではないことを伝えることが大事
- ・看護部だけでなく、院長や事務長も巻き込む
- ・最初から100点のものを作る必要はない、評価・修正をしていくことが必要

(6)今後の課題

- ・JNA ラダー導入の目的について周知が必要、啓蒙活動の強化
- ・JNA ラダーの導入について前向きに考えている施設は多いが、導入の初段階に迷いを感じている施設がある
- ・導入に向けての支援希望施設に対する対応
- ・訪問看護は施設長や経営者の理解が大きく影響する
- ・次年度は研修会での意見等をふまえ、支援体制を考察していく

2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携

日本看護協会は高齢者だけでなく子供を産み、育てる人々、子供たち、障害のある人などを含む、「全世代型地域包括ケアシステム」へと拡大するという現状から、多職種間の連携強化、病院完結型から地域完結型へと変換していく必要がある。看護師職能Ⅰでは、病院領域において、地域包括ケアシステムにおける現状の情報共有と意見交換を行い、現状把握と問題点の抽出に努めた。その結果、各施設において専門性を高める必要があるという意見が集約された。そのためには各施設の役割を看護職へ周知する事、医師をはじめとする多職種との協働と連携の強化を図ることが必要である。

病院領域においては後方支援病院との連携や施設との顔の見える関係の構築、再入院を繰り返す患者への対策など多くの課題抽出ができた。また、4職能委員会と在宅ケア委員会での合同会議ではお互いの職種の現状の理解を深めることができ、今後の方向性を決める目安となる意見交換ができた。

3 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化

支部看護師職能Ⅰの委員との連携強化について、話し合いの場を設けることはできなかった。しかし、理事会での活動計画の報告において活動内容の把握はできた。今後は、情報共有の機会を設け、意見交換と連携強化を行うことが課題である。

4 広報活動・会員増加の推進

きらめきの投稿を行った。

会員増加に向けては、職能委員の中で話し合いを行った。減少傾向にある会員数について問題意識を持ち、今後は対策を考えていく必要がある。

5 日本看護協会との連携

全公職委員長会の出席（1回オンライン、1回は集合）にて、日本看護協会における情報収集と情報共有を行った。

各地域での課題について情報共有と意見集約を図ることができた。

IV 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 東由利子

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2) 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3) 4職能委員会の連携推進 4) 支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 5) 広報活動・会員増加の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会 計画9回中8回（8月は中止） 2) 看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議 5回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 計画15施設中14施設で実施（9月～3月） 1施設は施設事情により来年度に延期 2) 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能Ⅱ交流会（R5.3.18実施）参加者19人 (2) 全国職能委員長会議 2回（7月オンライン会議・3月参集開催） (3) 地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回（10月） 3) 4職能委員会の連携推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能委員会Ⅰとの連携強化 合同会議5回実施 情報交換、情報共有を行った (2) 地域包括ケアシステム構築に向けた多職種間の連携推進 4職能委員会と在宅ケア推進委員会との情報交換会実施(R4.12.17) 4) 支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各支部長による中間活動報告により活動把握を行った 5) 広報活動・会員増加の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 年1回(R4.6.25(土)午前中開催) 基調講演テーマ：「PEP TALK 元気・活気・勇気を与えるトーク術」 講師：末永整骨院・光 代表取締役 末永 成一 先生 (2) 会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 会報「きらめき」2022 vol.153にて活動紹介
4 今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 介護施設への認定看護師出前講座は令和5年度も15施設を目標に開催していく。また、これまでに実施していない施設を優先選定する。 (2) 交流会で取り組んだJNAラダー（高齢者施設版、訪問看護ステーション版）について介護施設の現状を把握し今後の活動を検討していく。また、開催時期については2024年度医療・介護報酬同時改定を見据えて検討する。 (3) 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携を図るため、4職能委員会及び在宅ケア推進委員会との連携を推進し、今後の活動を明確にしていく。

令和4年度 看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動報告

委員長 東由利子

○介護職員への認定看護師出前講座研修の取り組み

1 目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供するため、医療的知識の習得に向けた認定看護師出前講座による研修を企画・立案・実施し、介護施設で働く看護職員等の資質向上を推進する。

2 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう、看取りケア、褥瘡ケア、摂食嚥下等の看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4 研修実施日

令和4年9月7日～令和5年3月11日までの14日

5 実施内容

講座開催に向けての準備

1) 実施施設の選定

(1) 講座開催に向けて意向調査を実施

① 調査施設：老人保健施設66、老人福祉施設139（計205施設）

② 調査期間：令和4年5月18日～6月2日

③ 調査結果：43施設（老人保健施設15、老人福祉施設28）で開催を希望

(2) 選定基準を設け15施設を決定（東部：4 中部：4 北部：3 西部：4）

＜選定基準＞

① 開催地域の均一化を図るため山口県内の東部、中部、西部、北部から選ぶ

② 老人福祉施設、老人保健施設は、各地域でなるべく両施設が選定されるよう配慮する

③ 開催希望施設の講座受講者の予定人数や開催時間、開催曜日を考慮する

④ 施設が希望する講座の内容について考慮する

⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等で立ち入り制限のある施設については、講座実施施設対象外とする

2) 認定看護師の選定

(1) 開催施設を決定した後に、具体的な講座内容について施設と協議し、施設側が求めている専門分野の認定看護師15人を選定する

・ 認定看護師15人の選定にあたっては、講座開催希望施設の住所地である地区支部から選出することとし、講座が終了した後も地域の施設とかかわりが持てるよう配慮した。しかし、施設が希望した分野の認定看護師が対象支部にいない場合は、隣接支部から選出することとした。

(2) 開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能委員、看護協会事務局4者の日程を調整し開催日を決定

3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について



山口県の方針による感染防止対策を講じた上で開催することとした

(1)定期的換気の実施、収容率の50%以内

(2)マスクを着用し、実技演習は最小限度にする

注) 摂食嚥下障害看護については、今年度も実技を取り入れないこととした

(3)その他の感染予防対策については、施設側の対策を遵守する

(4)実施施設に対し、感染者が発生した場合の参加者への確実な連絡と対策を実施する

講座開催実績

15施設のうち1施設は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。14施設のうち予定通り開催できたのは8施設であった。6施設については、新型コロナ感染第8波のなか、認定看護師、開催施設、看護職能委員、看護協会事務局4者の調整を繰り返し講座開催するに至ったが、そのうち1施設については対面ではなくオンラインを活用して開催した。結果、老人福祉施設10施設、老人保健施設4施設での実施となった。

1) 講座内容及び開催日 (*は介護老人保健施設)

地域	支部	施設名	講座内容	開催日	時間	参加人数
東部	岩国	*みどり荘	急変対応	9/ 7	14:00~15:00	20人
北部	萩	*徳寿園	摂食・嚥下	9/17	10:00~11:00	6人
西部	小野田	みとう悠々苑	看取り	10/ 7	18:30~19:30	25人
中部	防府	*好日苑	摂食・嚥下	10/13	17:45~18:45	42人
西部	小野田	*あんじゅ	認知症	10/14	16:00~17:00	34人
西部	下関	SUN	看取り	10/28	14:00~15:00	12人
北部	長門	へき楽園	看取り	11/ 4	14:00~15:00	18人
中部	山口	白松苑	感染	11/11	18:00~19:00	32人
西部	下関	豊寿園(オンライン)	摂食・嚥下	11/16	14:00~15:00	15人
東部	周南	つづみ園	急変対応	11/18	16:00~17:00	13人
西部	宇部	アスワン山荘	摂食・嚥下	11/22	10:00~11:00	8人
東部	柳井	つつじ苑	褥瘡	11/30	10:00~11:00	23人
中部	山口	山口あかり園	看取り	1/20	15:00~16:00	14人
北部	萩	阿北苑	感染	3/11	14:00~15:00	26人

東部1施設は中止

参加者合計 288人

6 講座のアンケート調査結果

出前講座受講生、出前講座実施施設、講師(認定看護師)、看護師職能委員を対象にアンケート調査を実施した。

1) 受講者アンケート結果 (アンケート回収率94.2%)

(1) 職種別参加状況

職種は介護職が多い傾向であるが、老人保健施設では看護職その他の職員と多職種の参加があった

(2) 研修の満足度について

研修内容については、満足できた、やや満足できたと答えた人が99.8%であった。

(3) 今後の実践に活かせるかについて

実践できそう、ややできそうと答えた人は99.2%であった。吐物の処理方法やガウンテクニック実演が実施された感染分野においては全員が活かすことができそうと回答した。



《受講生からの声》 (抜粋)

職場で専門職の話が聞けてとても良かった。知らない事ばかりでとても参考になった。

実際にやってみようと思った。認知症対応のちょっとしたコツを学ぶことができた。

褥瘡・ポジショニングについてこれからの介護に役立てたい。ガウンの着脱を体験ができたので大変参考になった。今まで曖昧だった知識が自信に変わった。

2) 出前講座実施施設を対象としたアンケート結果 (抜粋)

- ・専門的知識を持つ先生の講義に出席者はとても喜んでいました。
- ・今後も是非活用させていただきたい。(多数意見)
- ・正しい知識と対応が利用者さんへの安心安全に大きくつながることを再認識した。
- ・これを機会に地域福祉と医療(看護師)で相談・協力しあえる関係性が築ければよいと感じた。

3) 講師(認定看護師)を対象としたアンケート結果(抜粋)

- ・モチベーション、スキルアップにつながる活動の場です。
- ・地域の皆さまの力になれるよう頑張りたいと思った。
- ・来年度以降も是非参加させてください。(全員)



7 令和3年度講座開催施設への聞き取り調査

講座終了後も地域の施設との関わりが継続できるように認定看護師を選定してきたが、その後の経過については明確ではなかった。そこで、今年度は、出前講座以降の状況を昨年実施した施設へ聞き取りを行った。

1) 実施施設 16施設

2) 結果

- ・出前講座後の施設内変化については、全施設が意識・行動に変化が見られたと回答している。具体的には、誤嚥・窒息の発生ゼロや褥瘡の早期発見が可能となった施設もあった。
- ・出前講座の効果について概ねの施設が職員の資質の向上に役立ったと回答した。また、職員の行動変容の動機付けができたという内容の回答もあった。
- ・認定看護師との連携については、連絡体制はあるものの連携はとっていない施設が多かった。(コロナ禍の影響もあったと考えられる)

8 活動の評価・課題

- 1) 今年度はコロナ禍(第7波、第8波)にもかかわらず、14施設で実施することができた。中止となった1施設については来年度希望があれば優先的に選定していきたい。開催施設においては今年度も満足度の高い評価が得られた。
- 2) 新型コロナウイルス感染対策のため、3密を避けた机や椅子の配置、消毒、健康チェック、室内換気等に配慮した講座を実施した。開催による感染事例はなかった。

- 3) 講座当日の施設、看護師職能委員、事務局の役割分担はタイムスケジュールを作成し役割を示すことでスムーズに展開することができた。
- 4) 講師の機器持ち込みの場合は、施設側との事前打ち合わせを十分に行う必要がある。不具合を生じた事例があった。
- 5) 働き方改革等を鑑みると勤務時間内に開催できることが望ましい。夕方開催の場合は、講座開催関係者には交通事情の安全面考慮も必要であるため、開催時期・時間を検討した上で施設選定を行う。
- 6) 認定看護師出前講座終了後も認定看護師と地域の施設とのつながりを作れる機会となるように支援する。
- 7) アンケート結果からも本活動の必要性はあるといえる。今後も継続することで施設で働く看護・介護職員が認定看護師から学んだ知識や技術を要介護者に提供できるような活動として取り組んでいきたい。

出前講座認定看護師 派遣協力施設

国立病院機構岩国医療センター、周東総合病院、徳山中央病院、山口県立総合医療センター、訪問看護おかふじ、小郡第一総合病院訪問看護ステーション、国立病院機構山口宇部医療センター、宇部興産中央病院、宇部リハビリテーション病院、片倉病院、長門総合病院、萩市民病院、下関市立市民病院、国立病院機構関門医療センター 計14施設にご協力をいただいた。

令和4年度 常任委員会活動報告

1 労働環境支援委員会

委員長 宇都宮淑子

1 活動目標	<p>1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する</p>
2 委員会開催	4回中4回開催
3 活動内容	<p>1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会の開催 (1)日時：R4.9.29(木) 13：00～16：00 講師：関西医科大学看護学部 看護学研修科 教授 三木明子氏 内容：医療現場における暴力・ハラスメント防止対策(パワーハラスメント) 医療現場における暴力・ハラスメント対策(患者からの暴力) オンライン録画の講義およびGW(意見交換) 対象：看護管理者・事務長、参加者：24人(事務職9人、看護職15人) (2)日時：R4.9.8(木)・9(金)10：00～16：00 講師：公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課 奥村元子氏 内容：ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を作る！ ～就業継続できる職場づくりに向けて～ 講義およびGW(オンライン) 対象：中間管理職、参加者：R4.9.8：30人、R4.9.9：25人</p> <p>2)セカンドキャリア支援事業 (1)セカンドキャリア支援研修会の開催 日時：R4.12.22(木)13：30～16：00 講師：山口県医療政策課看護指導班主任 木倉悠子氏 安岡病院 看護部長 古本たつ子氏 山口リハビリテーション病院 看護部長 三輪絹代氏 鼓ヶ浦こども医療福祉センター 看護育成部長 田畑真弓氏 内容：山口県の看護の現況 セカンドキャリア世代の働き方を支援している施設の紹介と実際 対象：県内の50歳以上の看護職、参加者：14人 (2)「セカンドキャリア人材バンク」の設置 広報：11月通送便で案内 今年度登録状況：5人 活用状況：イベント参加協力：1人 循環器病対策県民フォーラム やまぐち健康経営フォローアップ講習会</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会について 看護管理トップマネージャーと事務長、看護中間管理者を対象に企画開催した。看護管理者、事務長を対象に行った研修では講義後にグループワークを実施した。病院の労働環境を考える上では事務との協力は重要で事務と合同での研修やグループワークは初めて実施した。病院規模に合わせたグループにしたことで意見や情報交換が活発に行われ、事後のアンケートでは職場環境や働き方システムの整備の一助となったと好評を得た。②現場の中間管理職を対象とした研修会は講義後にグループワークの目的、方法等をレクチャーし共通認識のもとで実施した。課題の抽出や意見交換を行う中で自部署の課題の明確化や課題解決のためのアクションプランにつながったグループもあった。また研修に参加することで現場の職場環境を変えていく意識となったという意見も多くあった。次年度も現場の職場づくりの要となる中間管理者を対象に継続したい。そして研修方法や目的を実践活動報告を含めた研修に拡大して取り組み支援して「働き続けられる職場づくりを推進する」活動としたい。</p> <p>2)セカンドキャリア支援として、セカンドキャリア支援研修会と「セカンドキャリア人</p>

	<p>材バンク」の設置について広報・活動報告を行った。研修での具体的な施設の紹介を県東部の情報や福祉施設など拡大して取り組んだが、コロナ禍の影響と自施設での継続就労が支援される環境に変わってきているためか参加者が少なかった。参加者へのアンケートで今後の研修テーマの希望は、働き方と生活設計や年金制度についてがあり、次年度の研修内容を検討していきたい。「セカンドキャリア人材バンク」の設置に関する広報は研修会の中でも実施し各病院施設へ広報した。次年度以降も継続して広報してセカンドキャリア世代の人材活用につなげていきたい。</p>
--	--

2 看護制度委員会

委員長 山中聖美

1 活動目標	<p>1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題解決に取り組む。 2)准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けて支援する。 3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る。</p>
2 委員会開催	7回 (R4.4.23、6.4、7.30、9.10、11.8、12.3、R5.2.17)
3 活動内容	<p>1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題解決に取り組む。 (1)令和2年度に実施した看護教員へのアンケート結果をもとに課題を検討、看護協会報等で書面報告した。 2)准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けての支援をする。 (1)令和3年度の研修会アンケート結果をもとに、県内の認定看護師を講師とした「准看護師スキルアップ研修会」を企画した。 (2)R4.12.3 「准看護師スキルアップ研修会」において看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供をおこなった。(参加者15人) 3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る。 (1)認定看護師による活動(地域活動を含めた)における実態調査を行うための準備を行った。 (2)認定看護師等の地域を含めた活動の現状を把握するための、効果的な調査方法の検討をした。</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)令和2年度に実施した准看護師の進学支援についてのアンケート結果を元に検討した課題を会報で報告することができた。 2)R4.12.3に准看護師スキルアップ研修として「コロナ禍における認知症ケア」を企画し開催することができた。コロナ窩ということもあり、関心が高く、理解できたという結果が6割以上であった。今後取り上げてほしいテーマにも最新の感染対策が挙がっていた。また、同日に看護師養成過程への進学や利用できる制度に関する情報提供を行うことができた。進学にチャレンジしたい、迷っているという意見が5割あった。これらアンケート結果を元に来年度の企画内容を検討する。 3)来年度も引き続き認定看護師による活動の実態調査と活用可能な資源把握調査を企画し、有識者に有効な調査方法の指導をうける予定である。</p>

3 教育委員会

委員長 上野 由紀恵

1 活動目標	<p>1)令和4年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2)会員のニーズおよび令和4年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和5年度教育研修を企画・立案する。 3)教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>
--------	---

2 委員会開催	9回開催																				
3 活動内容	<p>1)教育研修会の広報と実施</p> <p>(1)看護実践能力養成研修会 実施研修数 28コマ/29コマ(次年度に延期1研修) 受講者総数 1,701人/28コマ</p> <table border="0"> <tr> <td>① 新人研修</td> <td>1/1回</td> <td>⑥ 看護実践力(JNAラダー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 看護研究</td> <td>2/2回</td> <td>ア ニーズをとらえる力</td> <td>3/3回</td> </tr> <tr> <td>③ 看護管理</td> <td>3/4回</td> <td>イ ケアする力</td> <td>7/7回</td> </tr> <tr> <td>④ 自己教育関連</td> <td>3/3回</td> <td>ウ 協働する力</td> <td>4/4回</td> </tr> <tr> <td>⑤ アンケート枠</td> <td>1/1回</td> <td>エ 意思決定を支える力</td> <td>4/4回</td> </tr> </table> <p>2)研修の評価と次年度研修計画立案 (1)令和4年度の教育研修の運営・評価 (2)令和5年度の教育研修計画の企画・立案</p> <p>3)関係する委員会との連携 常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を、書面にて問い合わせ、結果を考慮し立案する。</p>	① 新人研修	1/1回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)		② 看護研究	2/2回	ア ニーズをとらえる力	3/3回	③ 看護管理	3/4回	イ ケアする力	7/7回	④ 自己教育関連	3/3回	ウ 協働する力	4/4回	⑤ アンケート枠	1/1回	エ 意思決定を支える力	4/4回
① 新人研修	1/1回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)																			
② 看護研究	2/2回	ア ニーズをとらえる力	3/3回																		
③ 看護管理	3/4回	イ ケアする力	7/7回																		
④ 自己教育関連	3/3回	ウ 協働する力	4/4回																		
⑤ アンケート枠	1/1回	エ 意思決定を支える力	4/4回																		
4 評価と今後の課題	<p>1)新型コロナウイルス感染防止の観点から、受講者数の上限は90人で実施した。毎回委員会で開催研修を振り返り、より良い運営に努めている。オンライン研修を活用することで、受講者の状況に応じて対応の幅が拡大してきた。今後もコロナと共存する社会での安全な研修の在り方について検討し、オンライン研修の有意義な活用と体制を調べていく。</p> <p>2)各研修の状況や受講者の研修アンケート、各支部や他委員会からの要望を基に内容や形態を考慮し企画した。次年度は地域包括ケアシステム構築・推進や看護職が元気に働き続けられるような研修を意識して企画した。今後も受講者ニーズやトピックス等考慮し、受講者にとって魅力的な研修企画をしていく。</p> <p>3)県内各支部、常任委員会に提示し、4支部1委員会より研修希望があった。頂いた意見や要望を教育計画に反映させながら、受講者にとって有意義な研修となるよう計画立案に取り組めた。今後も各支部、委員会からの意見や要望を聞き、幅広くニーズに沿えるよう努めていく。</p>																				

4 学会委員会

委員長 磯村由美

1 活動目標	実践に根差した看護研究活動の振興を図る。
2 委員会開催	7回(R4.4.16、7.30、10.29、12.6、12.17、1.19、R5.2.14開催)
3 活動内容	<p>1)第22回山口県看護研究学会の開催 4年ぶりに特別講演も企画し対面で開催した。</p> <p>(1)開催日時：R5.3.4(土)9:00～12:40 (2)場 所：山口県看護研修会館 (3)内 容：対面による口演発表及び特別講演 学会テーマ：ともに、再び歩きだそう 口演発表演題 8題 特別講演テーマ：ともに再び歩きだすための倫理 ～コロナ禍の先にあること～ 講師 琉球大学病院 地域・国際医療部 特命助教 臨床倫理士・倫理コンサルタント</p> <p style="text-align: right;">金城隆展 氏</p> <p>参加者 一般参加75人</p>

	<p>学会長、学会委員、座長等事務局等運営者 15人</p> <p>2) 第22回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 投稿募集、応募原稿の査読、選考を行い、第22回山口県看護研究学会抄録集を発行した。</p> <p>3) 山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討について 第22回山口県看護研究学会当日に、実施内容等について振り返りを行った。 第22回山口県看護研究学会参加者に学会開催時期の意向調査を実施した。</p>
4 評価と今後の課題	<p>第22回山口県看護研究学会は、昨年度に引き続き、参加人数を100人以内に制限し、感染対策を徹底することで、対面形式で開催することができた。また、一般演題の発表とともに、3年ぶりに講師の先生をお招きした特別講演を開催することができた。時間を縮小した午前中でのみの開催であり、時間配分等の運営は臨機応変に対応でき、大きな問題もなく学会を終えることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染流行状況を考慮しながら、オンラインを導入したハイブリット方式での開催も検討したが、感染状況の落ち着きもあり、当日は対面で開催することができた。対面での学会を終えてみて、対面ならではの参加者同士の活発な意見交換や交流が行えたのではないかと感じられる。今後は、参加人数を増やし例年通りの全日開催ができると、さらに活発な参加者同士の意見交換が可能になると考えられる。ハイブリット方式での開催が必要な場合は、各種設備の整備やシステム作りが必要である。</p>

5 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 坂本由紀子

1 活動目標	<p>1) カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価</p> <p>2) 認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進</p>
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価</p> <p>2) 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定</p> <p>3) 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価</p> <p>4) 令和5年度認定看護管理者教育課程サードレベル選考に係る小論文の課題の検討</p> <p>5) 令和5年度よりのファーストレベル受講者選考の基準検討</p> <p>6) 令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価</p> <p>7) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者フォローアップ研修支援</p> <p>8) 県協会会報「きらめき」への認定看護管理者教育運営委員会の活動報告と原稿掲載</p>
4 評価と今後の課題	<p>1) 評価 計画通り、カリキュラム基準に沿った円滑な運営と教育評価を行うことができた。オンラインによる委員会の開催により、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けることなく前向きな審議ができた。</p> <p>2) 今後の課題 令和5年度日本看護協会から出される認定看護管理者の新制度設計ならびに新カリキュラム基準を共有する。令和7年度より開始予定の新カリキュラムによる教育目的・目標および内容に準じたカリキュラムを検討する。</p>

6 広報委員会

委員長 佐々木晴美

1 活動目標	1) 県内の様々な取り組みを情報発信する。 2) 看護協会の認知度を高める。 3) 協会や県内各施設の取り組みに対し、時宜を得た広報活動を行う。 4) 会員が興味ある内容を掲載できるよう情報収集し、工夫をはかる。
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1) 山口県看護協会会報誌「きらめき」年に3回発行 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号153号、154号、155号) (2)実施内容等 ①掲載内容・紙面形式の検討 ②原稿依頼 ③原稿の編集・校正 ④紙面構成の検討 ⑤看護協会会員特典等の情報収集 2) ホームページの充実 ブログの更新 3) 県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集
4 評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症が続くため、メンバー全員集まる事が難しかった。今後はオンラインでの開催も検討している。 各病院・施設等がアピールできるような表紙、ユニフォームの紹介、今年の顔の紹介、ペット自慢など、会員が積極的に参加できる誌面作りができた。今後は認定看護師・専門看護師・特定行為修了者の活動紹介も募集するなど内容を更に充実させ、一人でも多くの方に見て頂けるような楽しい広報誌を刊行していきたい。 ホームページについては、ホームページへのアクセス数を増加させるためにも、画面を見る人の立場に立った画面展開を意識し「きらめき」内でアピールしていく。

7 推薦委員会

委員長 山時久美子

1 活動目標	1) 役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 2) 職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦
2 委員会開催	2回
3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 書面開催 (1)推薦者の確認 2) 第2回推薦委員会(県推薦委員・支部推薦委員合同会議) オンライン及びメール (1)推薦委員の任務について (2)委員長選出 (3)職能ごとに次期候補者の検討 (4)各施設への電話連絡 (5)各職能より候補選出進捗状況の確認 (6)未決定候補者の再検討
4 今後の課題等	令和4年度の県推薦委員と支部推薦委員の合同会議は、5回にわたりオンラインで開催したが、参加率が極めて高く、今後も有効活用を図りたい。また、県推薦委員の病院等との折衝状況を県推薦委員及び支部推薦委員にメールで通知して、情報の共有を図り、特定の病院への依頼が集中しないように配慮した。

8 医療安全推進委員会

委員長 梅本ひとみ

1 活動目標	<p>1) 医療安全管理者の養成</p> <p>2) 医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>3) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>4) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p>
2 委員会開催	<p>7回開催</p> <p>うち1回は圏域代表を招集して開催</p>
3 活動内容	<p>1) 医療安全管理者の養成</p> <p>(1) 令和4年度医療安全管理者養成研修会の企画・運営・評価、実施方法の検討・援助 新型コロナウイルス感染症拡大のため、8月24日の開講式と講義を延期した。開講式は9月14日の研修終了後に行い、講義は11月29日に行うことにした。38施設50人の受講。コロナ感染により欠席4人、濃厚接触者1人、研修時間に満たない受講者については内規の通り受講証明書で対応。45時間受講した45人は研修終了証とした。</p> <p>(2) 医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修(R5.3.10 0.5日) 企画、実施 出席者 36人</p> <p>2) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価(R5.2.10) 医療安全と記録を中心とした企画 参加者 44人 模擬カルテ開示の演習が高評価であった。</p> <p>3) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価</p> <p>(1) 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表会議(情報交換・意見交換・活動報告)を実施(R4.8.30) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3人はオンライン参加となった。</p> <p>(2) 現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 医療安全管理者情報交換会を実施(R4.8.5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者9人(専従13人、専任6人)。</p> <p>4) 県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回) 「きらめき」155号に医療安全情報を掲載、156号は原案提出</p> <p>5) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援</p> <p>6) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動</p>
4 評価と今後の課題	<p>令和4年度医療安全管理者養成研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、開講式と講義を延期した。受講生には講義順番が前後したことが申し訳なかった。カリキュラム検討時期にかかり、次年度からは山口県看護協会としての医療安全管理者養成研修は実施しない。よって、日本看護協会の各看護協会へ委託された「演習」を実施する予定。その分、次年度は医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援に力をいれていく。今後も、感染状況を踏まえながら医療安全に関わる看護職のスキルアップ研修や圏域やネットワーク活動の現状把握と今後の活動の支援を進めていきたい。</p>

9 災害支援委員会

委員長 垣内真理子

1 活動目標	<p>1) 災害支援活動体制の整備・充実</p> <p>2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援</p> <p>3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上</p>
2 委員会開催	<p>6回(R4.4.14、7.28、9.13、11.4、12.19、R5.3.15)</p>
3 活動内容	<p>1) 委員会内容</p>

	<p>(1)災害支援ナース育成研修(基礎編・実務編)の内容の検討、企画、実施 (2)災害支援ナース新制度、災害支援ナースの新しい育成研修についての情報収集、検討 (3)災害支援ナースフォローアップ研修の内容の検討 (4)山口県総合防災訓練における展示参加の検討と準備</p> <p>2)研修開催内容 (1)災害支援ナース研修 基礎編 【JNA収録DVD研修】 「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」 R4.7.8(金)、9(土)の2日間 受講者40人、修了者39人 (2)災害支援ナース研修 実務編 2日間 10月17、23日開催 修了者31人(うち既登録者2人)</p> <p>3)その他 (1)山口県総合防災訓練参加 R4.5.29実施の「山口県総合防災訓練」にWeb展示訓練として参加。実働訓練の動画とともに山口県ホームページで公開中。 (2)関係機関、団体との協働、協力</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)評価 前年度COVID-19急拡大の影響で災害支援ナース育成研修(実務編)が中止となったことから、新規登録者の育成に繋がれなかった。今年度は登録要件が満たされるよう基礎編と実務編の開催を優先目標に掲げ、取り組むことができた。</p> <p>2)今後の課題 災害支援ナース新制度、災害支援ナースの新しい育成研修について今後提示される方針を基に委員会で調整をすすめ、新たな育成プログラムを検討していく必要がある。また前年度基礎編修了者を含む、基礎編および実務編修了者について、新制度での登録にあたり、情報を的確に発信していく必要がある。本委員会では、災害支援ナースの資質維持・向上を最重要課題としてきており、新制度の中で課題解決に向けた具体的取り組みを検討していく。</p>

10 在宅ケア推進委員会

委員長 角谷博美

1 活動目標	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進</p>
2 委員会開催	<p>5回 ※4職能委員会との意見交換会の合同開催1回</p>
3 活動内容	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化に繋げるための取り組み (1)現状調査をふまえた取り組みの方向性を明確にするための検討 ・令和2年度の圏域別訪問看護実践研修を実施した支部を対象に行った調査をもとに課題抽出に取り組んでいたが、本委員会の役割を再度見つめなおし、在宅ケア推進に向けて改めて課題と方法を検討していくことになった。 ・12月の委員会において、各職能委員会の委員長と情報共有・意見交換を行った。在宅ケア推進における問題点や課題について共有した。 ・常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催はできていない。</p> <p>2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進 (1)訪問看護育成事業検討会との情報共有、会議の開催はできていない。 (2)山口県訪問看護推進協議会へ委員会およびオブザーバーとして出席した。</p>

4 評価と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における円滑な看護の連携を推進するためには、在宅ケアをイメージできるような教育方法の検討を行い、人材育成をしていく必要があるという課題を抽出した。人材育成に向けた研修計画案などは具体化できていないため、次年度に具体的な活動を検討していく必要がある。 ・各職能委員会と情報共有することで、全世代において在宅ケア推進における様々な問題を抱えていることを情報交換できた。情報共有・情報交換を目的とした会議は次年度も継続していく。様々な場で活動する看護職が在宅療養生活をイメージし理解できるようにするためにはどうすればいいか模索していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症によって在宅ケア推進における活動に変化があったかどうかも含め職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進事業(後)の各支部における在宅ケアの取り組みの現状把握を再度行い、現状調査からみえる在宅ケア推進に向けた看護機能の強化の具体的な課題の抽出を検討する。
------------	---

新型コロナウイルス感染症の拡大への対応

1 看護職の確保

県から「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」及び「新型コロナウイルスワクチン接種に従事する潜在看護師確保事業」を受託し、感染拡大に対応する看護職員の派遣調整や潜在看護師の積極的な掘り起こし、技術演習、就業支援を実施した。また、「宿泊療養施設における総合調整業務」を受託し、宿泊療養者数に応じた看護職員の確保や職員への指導・教育等を実施した。

日本看護協会から「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業（広域人材調整事業）」を受託し、感染が拡大する地域において、県内で人材が確保できない場合、他県へ応援派遣を要請する仕組みの体制整備を図った。

2 看護職への支援

県から「看護職員メンタルサポート事業」を受託し、メンタルサポートに関するニーズ調査、公認心理師によるメンタルヘルス相談、メンタルヘルス研修会の開催、出張による個別相談会及び院内研修を実施した。

さらに、日本看護協会から「新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業」を受託し、新型コロナウイルス感染症に関する業務に就業する看護職からの離職に関する相談窓口を設置し、離職相談を行った。

研修事業としては、感染対策の役割を担う看護職・感染管理認定看護師・在宅療養を支援する看護職・潜在看護職を対象とした研修会を開催した。また第6波における現状調査を実施し、看護職確保や医療従事者のワクチン接種、With コロナへの対応、看護職のメンタルヘルス等について課題の検討を行った。

3 本協会における感染対策

山口県看護協会新型コロナウイルス感染対策本部会議を開催し、感染拡大状況による研修等の開催基準の設定、基準に沿った研修や会議の開催方針、新型コロナウイルス感染対策マニュアルの見直し等を協議した。また、本協会が開催する研修会や会議については、感染拡大状況に合わせ適宜オンラインで開催する体制を整備し進めた。

4 行政・関係団体との連携

○山口県新型コロナウイルス感染症関連会議への出席

1) 山口県新型コロナウイルス感染症専門家会議（オンライン）

開催日	回	内 容
2022年11月16日	第1回	オミクロン株感染拡大への対応の振り返りと、今冬の感染再拡大を想定した対応等について (1) オミクロン株による感染第6波、第7波の振り返り (2) 現在の感染状況 (3) 新型コロナとインフルエンザの同時流行を想定した今後の対応等 (4) その他
2023年3月31日	第2回	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う県の対応方針案について

2) ワクチン接種対策会議（書面）

開催日	回	内 容	備 考
2022年5月18日	第1回	(1) ワクチンの4回目の接種の開始について	【出席者】 山口県市長 会会長、山口県町会会 長、山口県医師会会長、 山口県歯科医師会会長、 山口県薬剤師会会長、 山口県看護協会会長、 山口県病院協会会長、 山口県薬業卸協会会長、 知事、健康福祉部長
2022年9月16日	第2回	(1) オミクロン株対応ワクチン接種について	

3) その他の会議・研修等

開催日	会議名	備考
2022年4月20日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（周南圏域）	オンライン
2022年4月21日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（宇部・小野田圏域）	オンライン
2022年4月22日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（山口・防府、長門）	オンライン
2022年4月25日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（岩国、柳井、萩圏域）	オンライン
2022年4月27日	高齢者施設等における感染制御と業務継続～クラスター対策の経験から～：研修	オンライン
2022年7月26日	新型コロナウイルス感染症入院患者受け入れ医療機関 Web 会議	オンライン
2022年8月1日	コロナ急拡大に伴う検査・診療体制に関する Web 会議	オンライン
2022年8月10日	新型コロナウイルス感染症関係医療機関 Web 会議～ BA.5系統による感染急拡大を踏まえた対策の強化について～	オンライン
2022年8月16日	クラスター支援ネットワークの構築について	オンライン
2022年8月27日	新型コロナウイルス感染症自宅療養者等の訪問看護支援体制について～住み慣れた地域で安心して療養して頂くために～	オンライン
2022年9月8日	クラスター支援チーム Web 連絡会議	オンライン
2022年9月21日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（圏域）	オンライン
2022年10月28日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（圏域）	オンライン

5 緊急的な対応

1) 自宅療養者の健康観察業務

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対し、保健所が行う健康管理のうち、山口県看護協会の看護職員が自宅療養者の健康観察を行うことにより、自宅療養体制の確保を図ることを目的とする。

(2) 実施期間

岩国環境保健所	令和4年1月10日～9月30日
防府保健所	令和4年1月20日～9月28日
山口環境保健所	令和4年1月30日～10月4日
萩環境保健所	令和4年4月24日～9月28日
柳井環境保健所	令和4年4月25日～10月3日
長門環境保健所	令和4年5月6日～7月21日
宇部環境保健所	令和4年5月11日～8月8日
周南環境保健所	令和4年6月16日～8月11日

(3) 業務内容

自宅療養者に電話による健康観察を実施し YCISS に入力

(4) 実施件数 (件)

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	計
件数	4,946	5,973	3,861	10,546	10,282	2,403	45	38,056

2) 保健所への看護職員応援

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う保健所の緊急的な人材ニーズに対応できるよう、看護協会が潜在看護職員を雇用し、保健所業務を支援することで、保健所機能の維持を図ることを目的とする。

(2) 実施期間

岩国環境保健所	令和4年1月14日～令和5年4月30日
周南環境保健所	令和4年1月19日～令和5年4月30日
柳井環境保健所	令和4年1月20日～令和5年4月30日
防府保健所	令和4年1月20日～令和5年4月30日
山口環境保健所	令和4年1月23日～令和5年4月30日
宇部環境保健所	令和4年1月29日～令和5年4月30日
萩環境保健所	令和4年1月31日～令和5年4月30日

(3) 業務内容

積極的疫学調査の補助業務・自宅療養者の健康観察等

(4) 応援者数

(人)

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3
応援者数	40	40	34	35	43	46	39	35	39	41	40	39

重点方針

3年以上に及んだ新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類に移行することとなった。看護職はその間懸命に職責を果たし、かつてないほどその役割・職責の重要性は社会に浸透した。

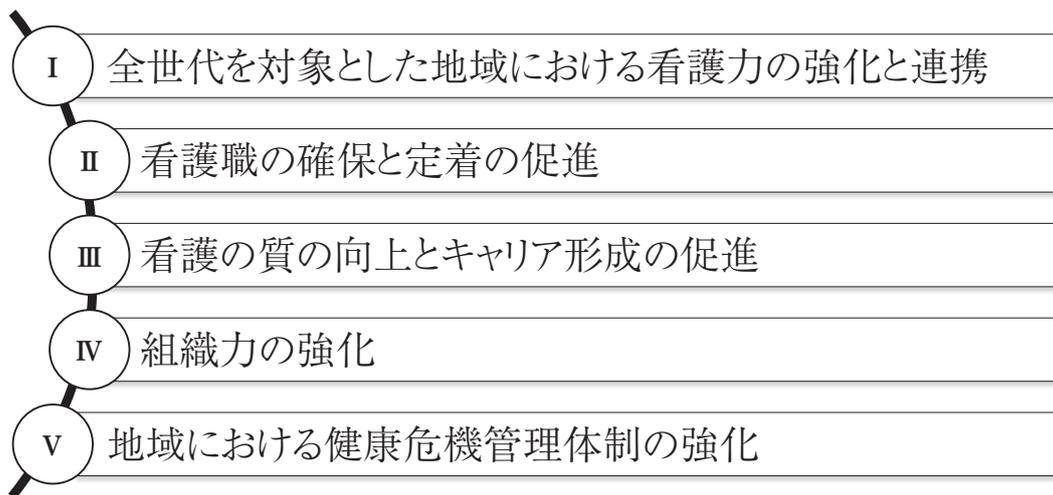
こうした中、国において2040年を見据えた少子高齢化社会の人口・疾病構造の変化への対応として進められる地域包括ケアを含む社会制度改革は、長期間における感染症により大きな変更を余儀なくされ、看護にも新たな医療 DX への対応等これまで以上の柔軟な対応が求められている。

このため、感染拡大が生じて、一般医療や救急医療等を含む保健医療システムを機能させながら社会経済活動を維持させるべく、平時からの危機的な状況下でのマネジメントや感染管理、人員配置など医療提供体制等の整備が急がれる。

山口県看護協会は看護職能団体として、かねてより、疾病予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮したところであるが、看護職が社会の期待に応え、その重責を果たすために社会情勢を踏まえた新たな事業展開と伴に看護職の確保・育成・活用に向けた体制整備、育成のための研修体系等の充実、活躍しやすい社会環境づくりに取組まなければならない。

今後とも、関係機関等と連携して専門性を活かし、感染症対策はもとより、地域の保健・医療、看護職の処遇改善等において、社会からの期待に一層応えていく。

これらを踏まえ、令和5年度は以下の5点を重点方針として事業を行う。

- 
- I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
 - II 看護職の確保と定着の促進
 - III 看護の質の向上とキャリア形成の促進
 - IV 組織力の強化
 - V 地域における健康危機管理体制の強化

令和5年度 重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

【事業概要】

地域包括ケアシステムを推進するため「全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携」を重点方針とし、子ども・子育て世代、障害者、高齢者など、全ての住民を対象とした取り組みを進めている。重点事業として、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携の強化を図る目的で、地域における課題の抽出と課題解決のための取り組みを支部事業として展開している。今後も、地域の特性を活かしながら看護職のみならず多職種との協働・連携へと発展させていく。

また、保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの各職能委員会において、地域を見据えた専門領域での看護職間および多職種間の連携について検討し、抽出した課題解決に向けた取り組みを継続するとともに、母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みについても継続する。

【重点事業】

I-1 地域連携における看護の機能強化事業

- ・在宅療養支援のための看護職連携推進研修 県委託を含む

ポイント 支部事業として実施

- ・在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み

ポイント 看護職間の連携の現状を踏まえて、効果的な取り組みの検討

I-2 看護業務の質の向上に関する事業

- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ各職能委員会の活動

ポイント 4職能委員会において専門領域での地域における連携について検討

職能間での専門領域における連携上の課題解決に向けての取り組み（常任委員会と連携した活動）

- ・母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組み

ポイント 助産師職能委員会を中心に、他の職能委員会等と連携して進める

【他事業】

- ・訪問看護師育成支援事業 県委託

重点方針Ⅱ 看護職の確保と定着の促進

【事業概要】

山口県内の看護職員就業者は25,285人（令和2年12月末）で、2年前と比較すると180人と微増である。（衛生行政報告例）。

本県では、地域や就業場所による偏在が顕著であり、県北部の看護職員不足や小規模病院・介護施設・訪問看護ステーションの看護師確保が課題となっている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に伴い、医療機関では急速に増大する感染者対応、また、スタッフ自身の感染による看護職不足、ワクチン接種や軽症者宿泊療養施設等への新たな人材確保、また、疲弊等による看護師の離職者が増えたことも人員不足の深刻な課題となっている。

そこで本協会では、潜在看護職への復職を呼びかけ、スキルアップのための研修を行い、医療機関への再就業を進めるとともに、保健所の支援業務等への就業も促してきた。

今後も潜在看護職の活用による看護職の確保を図るため、再チャレンジ研修の充実をはじめ、きめ細やかな復職支援を行うとともに、退職時の届出制度の一層の周知を図り、求職者や求人施設のe-ナースセンターへの登録を推進していくことで、危機時にも役立つシステムとして定着させる必要がある。

また、現役世代に対しては、看護の現場で働いている看護職が辞めない、できるだけ健康で長く働き続けることができる職場環境づくりを推進していくために、医療勤務環境改善支援センターとの連携を強化し活用を推進するとともに、病院・施設における労働者側・経営者側双方が抱える課題の明確化、アクションプラン、実践、評価見直し等解決に向けた改善支援に取り組む。

【重点事業】

Ⅱ-1 ナースセンター事業 県委託

- ・無料職業紹介
- ・離職者・未就業者届出サポート
- ・再チャレンジ研修

ポイント 看護管理者や看護職に対して届出制度の周知活動、病院等との連携強化
潜在看護職へのきめ細かい復職支援

Ⅱ-2 働き続けられる職場づくり推進事業

- ・(拡充) 働き続けられる職場づくりの啓発・支援

ポイント ・相談窓口の明確化と医療勤務環境改善支援センター等の相談機関に繋ぐ体制整備
・健康で安全な職場づくりのためのスキルアップ研修
・中小病院・介護保険施設等への問題解決に向けた個別の相談支援

【他事業】

- ・プレナース発掘事業 県委託
- ・看護職員再就業支援相談会 県委託

重点方針Ⅲ 看護の質の向上とキャリア形成の促進

【事業概要】

医療・看護を取り巻く状況は大きく変化しており、看護職にはあらゆる場での専門職としての役割発揮が期待されている。今後も看護職が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、ニーズに応えられる体制を強化し、より効率的な看護提供を行うことが求められる。

看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、認定看護師等の質の向上を図るとともに、専門性を活かして地域で活躍できる場を広げ、地域のニーズとのマッチングなど、地域の健康づくりに貢献するためのシステムをつくり上げ、地域全体の健康レベルの向上に資する事業を展開していく。

また、看護職個々が本協会の研修等を活用し、継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。

【重点事業】

Ⅲ-1 看護業務の質の向上に関する事業

- ・(新規) 認定看護師等活躍推進事業 県委託

ポイント ・県内における専門看護師・認定看護師の活動の実態や地域活動を行う上での課題等把握のための実態調査

- ・ 専門看護師・認定看護師の全体交流研修会と分野別での交流会を開催
- ・ 地域別の看護管理者等と専門看護師・認定看護師等の交流研修会の開催
- ・ 専門看護師・認定看護師の登録制度システムづくり

※さらに、専門看護師・認定看護師登録制度システムを稼働させ、専門看護師・認定看護師と地域の要望をマッチングし、地域保健活動への基盤を築いていく。

※看護制度委員会と連携して進めていく。

【他事業】

- ・ 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の導入支援
- ・ 保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能委員会活動
- ・ 看護制度委員会活動
- ・ 一般教育研修
- ・ 認定看護管理者教育（ファーストレベル・サードレベル）
- ・ 新人看護職員研修事業 県委託
- ・ 助産実践能力向上事業 県委託
- ・ 実習指導強化推進事業 県委託
- ・ 助産師出向支援導入事業 県委託
- ・ 認知症地域医療支援事業 県委託
- ・ インターネット配信研修
- ・ 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
- ・ 医療安全推進事業
- ・ 第23回山口県看護研究学会の開催

重点方針Ⅳ 組織力の強化

【事業概要】

本協会においては、看護が担うべき役割を支援する事業の一層の推進や迅速な情報発信等を行う上での職員の育成や体制整備といった組織力の強化が必要である。

また、常務理事会において、オンライン会議・研修等を進めるためのICT環境の整備や活用方法について調査・検討を行ってきたが、この結果を踏まえ、会員にとって有益で利便性が図れるようなICT環境の整備を促進していく。

さらに、新卒者の入会促進、再入会への呼びかけ、未入会施設等への働きかけも強化し、会員の増加を図る。

また、新型コロナウイルス感染症への対応も考慮しつつ、看護職が社会からの期待に応えるべく効率的な事業展開をし、県協会の経営基盤の安定化のために財務の健全運営への取組を継続する。

【重点事業】

Ⅳ-1 広報活動事業

- ・ 山口県看護協会ホームページの充実

ポイント ホームページから提供される機能等を充実し会員にとって有用性の向上を図る。

- ・ 入会促進に向けた活動

ポイント 看護師等学校養成所への訪問による入会案内、再入会への呼びかけや未入会施設への入会

促進強化

IV-2 組織運営に関する事業

- ・会員にとっての利便性が図れるよう、本協会の ICT 環境の整備を促進する。
- ・看護政策推進のための組織強化
- 【ポイント】 看護管理者の会議等によるネットワークづくりを推進

【他事業】

- ・支部活動の充実
- ・財務の健全運営の取り組み
- ・会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- ・他団体との連携

重点方針V 地域における健康危機管理体制の強化

【事業概要】

看護職は、コロナ禍の最前線でリスクと対峙しながらも、専門性を発揮しその役割を果たしてきた。今後も、新たな新興感染症や大規模災害等の発生が予測される中、更なる健康危機管理体制の整備と強化が望まれる。

本協会では、これまで災害時に備えた災害支援ナースの人材養成や研修を実施してきた。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大においては、地域のニーズに応じて即時に対応する形で、「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」を始めとした様々な事業を行っている。今後、行政等関係機関との連携のもと、いざというときに即応可能な人材確保やその人材が適材適所で有効な役割を果たせるような体制を整えていく必要がある。

【重点事業】

V-1 大規模災害発生時の対応体制の強化

- ・(新規) 災害・感染症に係る応援派遣対応看護職向け研修の実施 日本看護協会委託
- ・災害支援ナース登録者へのフォローアップ体制の拡大
- ・山口県総合防災訓練等への参加
- ・災害時の受援要綱の作成

V-2 新興感染症等の感染拡大への対応体制の整備

- ・県行政等関係機関との健康危機管理体制強化のための協議
- ・(新規) 災害・感染症に係る応援派遣対応看護職向け研修の実施 日本看護協会委託

重点方針とは別に取り組む事業

1 人々の健康及び福祉の増進に関する事業

【事業概要】

看護師国家試験の合格者は約5.5万人/年であり、これを維持していくためには、2030年には、18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。小・中・高校生や教員、保護者を対象に、進路選択で看護学校・大学への進学を選択してもらうために、県内看護学校の情報提供やふれあい看護体験や出前講座などにより看護職に触れ合う機会を提供する。まちの保健室等住民を対象とした活動については、コロナ禍での実施となるので、関係施設の意向を踏まえ感染対策等に配慮したうえでの実施方法を工夫す

る。

【事業】

- ・「看護の日」及び「看護の心」PR 事業
- ・プレナース発掘事業 県委託
- ・健康相談・啓発等の事業
- ・まちの保健室活動
- ・「国際助産師の日」活動
- ・がん総合相談窓口の運営 県委託
- ・訪問看護ステーションの運営

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 31コマ32日程度
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 19日間 ②認定看護管理者教育課程サードレベル 180時間 32日間 ③フォローアップ研修(ファーストレベル・サードレベル)
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②研修責任者研修 4日 ③教育担当者研修 6日 ④実地指導者研修 5日
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日 ②助産実践能力向上研修 5日程度
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②実習指導者養成講習会 32日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修 3日程度 ④実習指導アドバイザー派遣 3回程度
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修 3日間 2回
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 4回
(8)その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回程度
(9)委員会	①教育委員会 10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回程度
(10)日本看護協会との連携	①全国看護基礎教育担当者会議
2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の資質向上の 推進	①医療安全管理者スキルアップ研修 2回
(2)医療安全推進事業	①医療看護安全啓発 医療安全情報きらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供

事業項目	主な事業内容
(3)医療安全管理体制の構築・充実	「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及活用促進 ①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援。 圏域代表との意見、情報交換 1回 ②医療安全管理者交流会の開催 2回
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用促進
(5)委員会	①医療安全推進委員会 6回程度 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全推進会議 1回 ②医療事故調査制度等医療安全に係る研修会への参加 1回
3)学会等学術集会に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	①第23回山口県看護研究学会 3月
(2)委員会	①学会委員会 6回
(3)日本看護協会との連携	①日本看護学会運営会議 1回
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)ナースセンター事業	
(1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	協議会開催 1回
(2)無料職業紹介 (山口県委託)	①第6次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・無料職業紹介 ・求職者の登録 ・求人施設の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談

事業項目	主な事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人情報の提供 ② ナースセンター・ハローワーク連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携事業連絡調整会議 2回 ③ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の広報 ナースセンターだよりの発行、県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報、メディア等
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ① 再就業支援研修(地域施設研修) <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修協力施設 23施設 ・ 募集期間 令和5年4月中旬～令和6年3月上旬 ・ 研修 随時実施 ・ 研修期間 3日～5日程度 ② 集合研修 3回 ③ 調整会議 1回 ④ 広報
(4)再就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ① ハローワークでの出張相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩国、柳井、下松、徳山、山口、防府、宇部、萩、長門、下関のハローワークで実施 ・ 5月より各会場で原則月1回(柳井・下松・長門は隔月)実施。 ② 再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 ③ 再就業にあたり必要な専門相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床心理士 月1回 ④ 調整会議 3回 ⑤ 広報
(5)就業支援サポーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ① ナースセンターでの相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> 山口県ナースセンター 毎日(土・日・祝日、年末年始を除く) 9:30～16:00 対面、電話、メール ② サポーターによる施設訪問・学校訪問の相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 求人施設からの相談対応(勤務環境に関する相談含む) ・ 学校における進路説明・進学相談対応 ・ 看護学校訪問 ③ 調整会議 3回 ④ 広報
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護師等就業協力員研修会の開催 1回 ② 就業協力員の活動として学校訪問への支援
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ① 器材の貸出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出対象 看護職員を配置する施設 ・ 貸出器材 8種 ② 個人の技術演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 技術演習の希望者 ・ 演習日 2～4回/月程度 ・ 演習項目 採血・注射・吸引など ③ 広報

事業項目	主な事業内容
(8)離職者・未就業者届出サポート(山口県委託)	①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報・広告 ③相談対応、登録サポート ④届出者への情報提供
(9)看護職員再就業支援相談会(山口県委託)	①相談会の開催 県内5会場 ・対象者 再就業を希望する者 ・参加施設 中小規模の医療機関や訪問看護ステーション等 ②相談会のあり方検討会 2回
(10)会議等への出席	①職業紹介責任者講習(全国民紹協) ②山口県看護職員確保対策協議会(県)
(11)日本看護協会との連携	①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター) ②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター) ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック
2)プレナース発掘事業	
(1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)	看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布
(2)1日ナース体験(山口県委託)	対象：中学生、高校生 期間：夏休み期間 施設：参加協力施設
(3)看護の魅力発見(山口県委託)	①看護の魅力発見の開催 対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 実施地域：3か所程度 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談 ②事業検討委員会 2回
(4)看護職員の学校訪問(山口県委託)	①学校訪問の実施 学校と調整し訪問 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話
(5)日本看護協会との連携	①若年層への情報発信の強化
3)働き続けられる職場づくり推進事業	
(1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援	①労働環境支援委員会 4回 ②看護職員就労定着支援事業 ・ヘルシーワークプレイス研修会① 対象：中間管理職 ・ヘルシーワークプレイス研修会② 対象：看護管理者 ・ヘルシーワークプレイス研修会③ 研修①受講者の実践事例報告会 ・セカンドキャリア支援研修会 ・「セカンドキャリア人材バンク」の設置事業

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	看護労働担当者会議
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務 (山口県委託)	医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣
4)新型コロナウイルス対応事業 (1)新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 (山口県委託)	①宿泊療養施設等のマネジメント専門員の配置 ②看護職員の必要状況等の調査及び情報収集 ③派遣可能な看護職員のマッチング ④新型コロナウイルス感染症に関する研修の実施
(2)看護職員メンタルサポート事業(山口県委託)	就業看護職員の精神的な疲労による離職を未然に防ぐための対策 ①看護職員に対するメンタルサポーター(公認心理師等)による相談の実施 ②管理者等に対するメンタルヘルスに関する研修会の開催
(3)新型コロナウイルス感染症等に係る看護職等確保事業	①災害及び新興感染症に備えた整備 ・看護職員等の派遣調整の体制整備 ・災害・新型コロナ等新興感染症の応援派遣対応できる職員の養成

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業 (1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 9回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部連携として合同会議の開催 ④会報やホームページによる情報発信 会報に「ひたむきな保健師」掲載(年3回)
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②教育研修計画への参画
ウ 活動の啓発および会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレットの活用 ③会報やホームページによる情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 7回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別助産師職能委員長会 1回

事業項目	主な事業内容
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上研修(中堅助産師研修)の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進
ウ 院内助産システムの推進と助産師出向導入支援システムの活用	①ガイドラインを活用した院内助産システムの推進 ②助産師出向導入支援事業との情報共有、協力の活用
エ 災害時の対応	①災害時の対応について情報共有、情報提供
オ 広報活動	①イベントにおける助産師活動の周知活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等を活用しての周知
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 ②支部看護師職能委員 I との合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会Ⅱとの合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	①クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 ・ラダー活用のアンケート調査結果をもとに課題を抽出し、推進活動の実践 ・JNAクリニカルラダー活用に関する研修会の企画と評価(年1回)
イ 地域包括ケアシステムの推進に向けた、地域における看護力の連携と強化	①在宅ケア推進委員会及び四職能委員会の連携強化 ・それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ・地域への継続できる看護の取り組み ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	①支部および看護師職能Ⅰ委員との合同会議 2回(10月・3月) ・支部活動の理解と把握及び情報共有 ・地区別看護師職能Ⅰ委員長会の課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能Ⅰ委員長会議 1回 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ 9回 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議(10月・3月) 2回

事業項目	主な事業内容
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	③看護師職能委員会 I との合同会議(随時) ①介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内15施設で開催(8月～11月)
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能 II 交流会開催(1回) ②全国職能委員長会議 2回 ③地区別看護師職能 II 委員長会議 1回
ウ 三職能四委員会および在宅ケア委員会との連携推進	①地域包括ケアシステム構築に向けた連携推進 ・三職能四委員会および在宅ケア推進委員会との合同会議 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題について取り組む ②看護師職能委員会 I との連携
エ 支部看護師職能委員 II との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能 II 委員会の課題等について意見集約
オ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(I・II合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会 1回
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 7回
ア 〇看護制度の課題解決への取り組み (1)専門・認定看護師等、看護専門領域の資格取得者の地域活動の推進と連携強化	安定的な質を確保した看護の提供のために、看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動について連携強化を図る。 ①県内の看護専門領域の資格取得者の活動についての実態調査 ②実態調査をもとに、看護専門領域の資格取得者が地域貢献活動を行う上での課題等の把握
(2)准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	①准看護師スキルアップ研修会の企画・運営・評価 ②看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供
(3)看護師基礎教育4年制化に向けての取り組みの推進	①看護師基礎教育4年制化の意義や必要性の周知と実現への機運を高めるための企画、運営
イ 広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業(山口県委託)	①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 ⑤助産師出向支援事業報告会の開催
(8)新認定看護師等活躍推進事業(山口県委託)	①県内の専門看護師、認定看護師の活動の実際と地域活動展開にむけての課題抽出を目指した実態調査

事業項目	主な事業内容
	②専門看護師・認定看護師の分野別、圏域別等ネットワーク構築を目指した交流会等の開催 ③地域や施設等のニーズに合わせた活動を行うことが可能な専門看護師・認定看護師等の登録、派遣体制についての検討 ④専門人材と施設や地域のニーズのマッチングについての検討

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 地域連携における看護の機能強化事業 (1) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口県委託事業 訪問看護師実践事業を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催 2回 ②看護管理者会議 1回 ③研修会・交流会等の開催 1回
(2) 在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会 5回程度
ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	①山口県における在宅ケア推進における具体的な課題の抽出と検討 ・職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業(後)の各支部における在宅ケアの取り組みの現状把握 ・現状把握からみえる在宅ケア推進における看護機能の具体的な課題の抽出と検討 ・職能委員会、各支部との情報交換を行う中で、検討結果を基に看護機能に向けた取り組みの具体化を図る ②看護機能強化に向けた各支部活動の取り組みとして、職能委員会における連携推進に関わる取り組み及び、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業における各支部活動に関する情報共有・情報交換を目的とした会議を開催 各1回程度
イ 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進	①訪問看護育成支援事業検討会との情報共有 ②山口県訪問看護推進協議会へ、委員およびオブザーバーとして出席
(3) 訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)	
ア 訪問看護活動の充実、推進	①訪問看護推進協議会 1回 ②訪問看護師育成支援事業検討会
イ 訪問看護師の看護実践能力の向上	①訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) 5月～12月の間 180時間 30日程度(見学実習3日程度を含む) ②中堅者から管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ③訪問看護基礎研修、訪問看護入門研修等、訪問看護の未経験者、初任者に対するの事業、研修等の企画・実施・評価

事業項目	主な事業内容
<p>ウ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み</p> <p>エ 在宅感染管理研修事業 (山口県委託)</p> <p>(4)日本看護協会及び関係団体との連携</p> <p>2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p> <p>3)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施</p>	<p>④訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動</p> <p>①訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供 ②訪問看護実践研修への参画、提言</p> <p>①訪問看護師等在宅療養を支援する看護職に向けた研修の実施 ②在宅療養者等向け感染管理啓発リーフレットの改訂</p> <p>①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回</p> <p>①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回</p> <p>②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2023への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ・感染症予防(標準予防策の徹底)</p> <p>③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携</p> <p>④広報活動 ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布</p> <p>①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 1回 ②普及啓発グッズの配布 ③関係機関との連携推進 ④「まちの保健室」企業と連携</p>

事業項目	主な事業内容
<p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p> <p>(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)</p> <p>4)災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1)新体制の災害支援活動の整備 および既存体制の再構築</p> <p>(2)新体制の災害支援ナースの養成 および資質向上のための支援</p> <p>(3)平常時の防災活動の推進</p> <p>(4)日本看護協会、関係機関、他 団体との連携および協働</p> <p>(5)委員会</p> <p>5)「看護の日」及び「看護の心」 PR事業</p> <p>(1)看護の日・看護週間行事開催</p> <p>(2)看護のPR</p>	<p>⑤健康フェアへの出展</p> <p>①各支部助産師職能活動支援(リーフレット、ポスター等の配布)</p> <p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日 ②看護職者による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 ④相談窓口の積極的な利用の促進</p> <p>①新体制災害支援体制の整備 ・新体制災害支援要項の作成 ・災害支援ナース登録システムの活用及び新体制に対応したシステム再構築 についての検討 ・災害支援活動物品確認、整備 ②研修、活動等の参加による指導者の育成</p> <p>①新体制の災害支援ナース研修「基礎編」の企画・運営 ②災害支援ナースフォローアップ研修企画・運営 ③新体制および現在の災害支援ナースの新規登録・登録更新 ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解 の推進のための活動</p> <p>①山口県総合防災訓練への展示参加など訓練への参加 ②災害支援物品の整備</p> <p>①都道府県看護協会災害看護担当者会議 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携</p> <p>①災害支援委員会 10回</p> <p>①2023年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ②10支部・会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 ③ふれあい看護体験を学生等を対象として会員施設で開催 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布</p> <p>①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 ②やまぐち未来のしごとフェスタ出展 ③みらいWalker★UBE出展 ④わくわくワーク～子どもたちのためのお仕事体験～出展 ⑤職場体験 ⑥進路相談</p>

事業項目	主な事業内容
	⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設入場支援 ⑦レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターの運営
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) 6.17 ② 理事会(※法人) 7回程度 常務理事会(※法人) 5回程度 監査会(※法人) 2回程度 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回程度 ・ 推薦委員会(※法人) 5回程度 ・ 県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回程度 ・ 選挙管理委員会 1回程度 ・ 他、各種会議(※法人)
(3) 看護政策推進のための組織強化事業	① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加 ・ 看護職員就業施設訪問 ・ 看護管理者会議によるネットワーク強化 ② 看護協会入会促進 ・ 入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・ 看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・ 看護学校卒業生への啓発活動
4) 広報活動事業 (1) 広報活動	① 会報「きらめき」発布(※公益/収益等) ・ 年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・ 委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ② ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・ 研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載
(2) 各種情報提供	① 会員増加の推進(※収益等/法人)

事業項目	主な事業内容
5) 他団体との連携 (1) 看護教育機関との連携 (2) 看護関連政策の推進 (3) 他団体との共催行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・ 看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・ 「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ② タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 通郵便 1回/月 ・ 印刷物等配布 ① 入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ② 見学・実習の受け入れ(※公益) ③ 卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人) ① 要望・事業提案(※法人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・ 山口県看護連盟との連携 ① 医療関係団体新年互例会(※法人) ② 研修会等の後援 ③ 研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和5年度 支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
支部集会	R5.7.15(土) 13:30～14:30 開催場所：岩国市医療センター医師会病院 東棟4階
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修：岩国支部集会後、一般講演実施 R5.7.15(土) (仮) 認知症に関する最近の話題 場所：岩国市医療センター医師会病院 東棟4階 講師：岩国医療センター認知症認定看護師 2) 職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会 場所：岩国市医療センター医師会病院東棟4階 日時 R5.11.16(木)19:00～20:30 (仮)「ときどき入院。ほほ在宅」地域への取り組みに向けた多職種研修会Ⅱ 3) 第4回3支部合同看護マネジメント研究会(開催地 岩国市) R6.2.3(土)13:00～17:00 開催場所：岩国医療センター医師会病院
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 支部長に案内送付された労働環境に関わる研修に、施設の県協会の代表者と連携し 支部会員に研修参加を働きかける
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 看護の日及び看護の心PR行事、国際助産師の日の開催 2) まちの保健室活動 健康年齢維持運動：リーフレット等配布 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会 1回目 R5.3月 2回目 R5.8月 (仮)研修会：R5.11.16(木) 岩国医師会コ・メディカル研修会 (仮)「ときどき入院。ほほ在宅」地域への取り組みに向けた多職種研修会Ⅱ
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 看護職交流会：1回 2) 表彰者推薦事業 表彰者へのお祝い 3) 看護学校への卒業式、入学式 お祝いメッセージ
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部活動の充実 ・地域会議への出席(支部長他) ・地域医療支援病院審議委員会 ・岩国看護管理者ネットワーク会議(2回/年) ・岩国医療圏地域医療構想調整会議(1回/年)
支部会員数(R5.3.31)	504人(保健師62人 助産師12人 看護師410人 准看護師20人)

柳井支部事業計画

活動目標	1 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2 支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。
支部集会	日 時：R5. 7.8(土) 14時～15時 会 場：国立病院機構 柳井医療センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会(岩国支部主催への運営協力) 日 時：R6.2.3(土)13時～17時 会 場：岩国市医師会病院
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓蒙等の事業 (1)まちの保健室 ①開催 従来の対面式は中止。 *状況に応じ、代替案で柔軟に対応 (2)国際助産師の日事業 ①イベント 1回 予定 (3)進路相談 ①各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会 2回予定 ②研修会 訪問看護ステーション等見学実習を実施予定
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 ①県協会への協力 2)その他の事業 ①支部集会前研修：R5.7.8(土)13時～14時 テーマ：「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)に関すること」 講師：緩和ケア認定看護師
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 ①地域会議への出席(地域包括支援センター主催協議会及び地域 密着型サービス運営委員会等に参加) ②看護学校3校 入学式・卒業式への祝電 2)支部役員会 5回 開催予定 3)支部委員会 各5回 開催予定 ①職能委員会②教育委員会③推薦委員会 ④選挙管理委員会 4)広報活動 ①県協会広報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R5.3.31)	565人(保健師45人 助産師15人 看護師474人 准看護師31人)

周南支部事業計画

活動目標	1)地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2)会員相互の親睦を図り、多職種との連携を深める
支部集会	日 時：R5.7.15 会 場：スターピアくだまつ 会議室1・2
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育委員会研修 1回 ②職能委員会研修 1回 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当：岩国支部 日 時：R6.2.3
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2)健康相談・啓蒙活動の事業 (1)まちの保健室 3回予定 (2)国際助産師の日事業 ①イベント「いいお産の日」 1回 (3)進路相談 ①各施設で実施 (4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会 3回 ②研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福祉厚生等に関する事業 (1)表彰候補の推薦 (2)山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2)その他事業 (1)看護管理者交流会(管理者) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部集会 1回 2)支部役員会 3回 3)支部委員会 職能委員会 6回 教育委員会 6回 推薦委員会 1回 選挙管理委員会 1回 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」へ投稿 (2)県協会ホームページへ投稿 5)地域会議への出席 (1)あ・うんネット周南ワーキング会議 5回 研修会 2回
支部会員数(R5.3.31)	1,852人(保健師53人 助産師65人 看護師1,680人 准看護師54人)

防府支部事業計画

活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアにおける看護力の連携強化・看護の質の向上 ・SNSにて啓発活動を行い、地域や他職種との交流や連携を深めることができる
支部集会	<p>R5.7.15(土)</p> <p>会場：山口県看護研修会館 本館大研修室</p>
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	<p>1)教育委員会 支部研修1回</p> <p>2)職能委員会 SNS(インスタグラム、ティックトック)投稿</p>
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	<p>1)看護職への支援事業</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)働き続けられる職場づくり支援</p> <p style="padding-left: 40px;">①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ</p> <p style="padding-left: 40px;">②SNSにて研修のお知らせ</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)看護職の人材確保・就業支援</p> <p style="padding-left: 40px;">①SNSにて病院紹介や進路・就業相談</p> <p style="padding-left: 40px;">②看護学校と情報交換を行い市内への就業促進を行う</p>
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	<p>1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)看護の日及び看護週間行事の開催 1回</p> <p style="padding-left: 40px;">①イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 リーフレットやグッズ等設置 ②各施設で実施 ③SNSにて看護の日のPR、イベントの告知、イベント後にSNSに投稿</p> <p>2)健康相談・啓発等の事業</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)まちの保健室 ①イオン店内にてリーフレット等設置 ②SNSで設置日を予告 ③SNSでリーフレットの内容や健康増進に繋がる内容の投稿</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)国際助産師の日事業 ①国際助産師の日イベント 1回</p> <p style="padding-left: 20px;">(3)保健師交流 ①研修会 1回 ②保健師情報交流会 1回</p> <p style="padding-left: 20px;">(4)その他の事業 ①地域行事での救護協力</p> <p>3)在宅療養支援のための看護職連携推進の強化事業</p> <p style="padding-left: 20px;">①検討会 3回 ②研修会 1回</p>
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	<p>1)会員の福利厚生に関する事業</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)その他の事業 ①親睦会 1回</p>
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	<p>1)支部役員会 7回 開催</p> <p>2)支部委員会 (1)職能委員会 3回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回</p> <p>3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)協会ホームページへの投稿 (3)SNSの投稿</p>
支部会員数(R5.3.31)	787人(保健師39人 助産師49人 看護師691人 准看護師8人)

山口支部事業計画

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)看護職の確保と定着を図る
支部集会	日 時：令和5年7月22日(土曜日) 会 場：山口県労働者福祉文化中央会館(労福協会館)
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回 (2)看護研究指導 1施設
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催事業への協力 (2)看護職の人材確保・就業支援 ①看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 ・アピール動画作成(中高生対象)・ポスター作製
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び看護週間行事開催 各施設で実施 2)「まちの保健室」開催 8回 3)「国際看護の日」事業「いいお産の日」イベント 1回 4)進路相談実施 各施設・まちの保健室 5)地域連携推進委員会企画研修会 1回 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)講演会(支部集会後) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 6回 ②看護学校関連事業参加 2)支部運営に関する事業 (1)支部役員会 5回 (2)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 5回 ③推薦委員会 4回 ④地域連携推進委員会 5回 ⑤選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿
支部役員数(R5.3.31)	1,423人(保健師93人 助産師37人 看護師1,257人 准看護師36人)

宇部支部事業計画

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
支部集会	日 時： R5.7.22(土) 会 場： 山口大学医学部オーデトリウム
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修 R5.7.22:「スキンケアの予防とケア」 (教育職能合同)
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)健康ブースでのパンフレット配布 (2)まちの保健室・いいお産の日活動 (3)くすのきカントリーマラソン大会への救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進強化(小野田支部と合同) (1)検討会開催 (2)研修会開催 8月:訪問診療について(仮)
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)職能合同研修会 ①7月:「スキンケアの予防とケア」(教育職能合同) ②10月:「アロマセラピー (仮)」
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 6回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 3)その他 (1)看護学校入学、戴帽式、卒業式への参加 (2)地域会議への出席 ①宇部、小野田医療圏地域医療構想調整会議 3回 ②宇部市防災会議 1回 (3)市からの依頼 ①宇部市多職種連携研修会の受講者推薦 ②宇部市障害者自立支援審査会委員の推薦 ③宇部市介護認定調査会委員選任 など (4)広報活動 ①県協会「きらめき」へ投稿 ②県ホームページへ投稿
支部会員数(R5.3.31)	2,017人(保健師51人 助産師49人 看護師1,808人 准看護師109人)

小野田支部事業計画

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
支部集会	日 時：R5.7.22(土)10：00～12：00 会 場：小野田赤十字病院 大会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」行事開催 各施設で実施 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事開催 (検討中) 3)「まちの保健室」開催 リーフレット設置など代替や対面式も 4)山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」への参加 展示ブースと参加検討 5)看護体験実施：各施設で実施 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会開催 3回 (2)研修会開催 1回 R5.8予定(宇部支部と合同)
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)支部会員交流会の開催 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 5回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 4回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 3)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 4)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R5.3.31)	617人(保健師37人 助産師28人 看護師542人 准看護師20人)

長門支部事業計画

活動目標	コロナ禍において、地域包括ケアのための看護職の連携を強化する 地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日 時：R5.7.20(木) 予定 会 場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 予定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 ①一般教育研修 ②WEB研修 2回 2)学会等学術振興に関する事業 ①支部看護研究指導 ②看護研究発表会
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 研修会 1回 2)看護管理者会議 医療安全担当者会議：年1回 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議：年1回
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2)まちの保健室 3)国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会2回、研修会2回の実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)地域の看護職員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 ①地域会議への出席(支部長他) ②看護学校入学式・戴帽式・卒業式臨席 2)支部集会 3)支部役員会： 2回開催 4)支部委員会 ①職能委員会 ②教育委員会 ③推薦委員会 ④選挙管理委員会 5)広報活動 ①県協会「きらめき」の投稿 ②支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行
支部会員数(R5.3.31)	245人(保健師17人 助産師12人 看護師197人 准看護師19人)

萩支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化 2)地域活動を通して地域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に貢献する
支部集会	日時：未定 会場：萩市地域医療支援センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部研修会 1回 (2)三職能合同研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)健康に関する事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程設定し実施 2)まちの保健室開催 10回 3)国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 4)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)検討会 2回 (2)研修会 1回 5)進路相談 (1)各施設での実施 (2)まちの保健室での実施 (3)中学生への職業講話 6)その他の事業 (1)地域行事での救護等
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 (1)交流・親睦会 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 8回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦員会 3回 (4)選挙管理委員会 2回 3)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R5.3.31)	401人(保健師29人 助産師4人 看護師282人 准看護師86人)

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携。 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する。 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う。
支部集会	日 時：R5.7.21(金)18：30～ 会 場：よしみず病院 多目的ホール ぱるて
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催) 2回開催予定、非会員も含む
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対して進路・就業相談 (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う。
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業(下関地区・豊浦地区) (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業 合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)年9回 (2)地域行事での救護協力(海峡マラソン・歴史ウォーク) 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会3回 研修会1回の実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) 2回開催 (2)会員交流会 1回開催
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部役員会 7回 開催 (2)支部委員会 ①職能委員会4回 ②教育委員会4回 ③まちの保健室委員会2回、 ④推薦委員会2回、⑤選挙管理委員会1回 開催 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 (医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災 他) (2)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿 (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、 特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける。
支部会員数(R5.3.31)	1,691人(保健師51人 助産師50人 看護師1,548人 准看護師42人)

令和5年度 職能委員会活動計画

1 保健師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 保健師の連携強化及びネットワークの推進 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3) 活動の啓発及び会員増加の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会9回 2) 支部保健師職能委員との合同会議2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 保健師の連携強化及びネットワークの推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健師職能集会の開催(6月) (2) 保健師職能交流会の開催(3月) (3) 支部連携としての合同会議の開催(10月、3月) (4) 会報やホームページによる情報発信 会報に「ひたむきな保健師」掲載(年3回) 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 研修会・交流会の実施 (2) 教育研修計画への参画 3) 活動の啓発および会員増加の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健師職能集会や交流会の開催 (2) リーフレットの活用 (3) 会報やホームページによる情報発信

2 助産師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産実践能力の向上 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 4) 災害時の対応 5) 広報活動 6) 4職能委員会との連携強化
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会 7回 2) 支部職能委員との合同会議 2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出 2) 助産実践能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新人助産師研修の企画・運営・評価 (2) 中堅助産師研修の企画・運営・評価 (3) CLoCMiP[®]の導入・活用の推進 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進 4) 災害時の対応

	<p>周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換</p> <p>5) 広報活動</p> <p>(1) イベント等での助産師の普及活動</p> <p>① 看護の日・国際助産師の日</p> <p>② いいお産の日</p> <p>(2) ホームページ等へ記事投稿</p> <p>6) 4職能委員会との連携強化</p> <p>(1) 母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けての、ネットワークの構築</p> <p>(2) 地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加</p> <p>(3) 女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握</p>
--	--

3 看護師職能委員会 I

1 活動目標	<p>1) 看護実践能力の向上</p> <p>2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進</p> <p>3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化</p> <p>4) 広報活動・会員増加の推進</p> <p>5) 日本看護協会との連携</p>
2 委員会開催	<p>1) 職能委員会9回</p> <p>2) 支部看護師職能 I 委員との合同会議2回(10月、3月)</p> <p>3) 看護師職能委員会 I・II 合同会議(随時)</p>
3 活動内容	<p>1) 看護実践能力の向上</p> <p>(1) クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動</p> <p>・ ラダー活用のアンケート調査結果をもとに課題を抽出し、推進活動の実践</p> <p>・ JNAラダー活用に関する研修会の企画・評価(年1回)</p> <p>2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進</p> <p>(1) 在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化</p> <p>・ それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み</p> <p>・ 地域への継続できる看護への取り組み</p> <p>(2) 看護師職能委員会 II との連携強化</p> <p>・ 合同会議を随時行い、情報交換、情報共有</p> <p>3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化</p> <p>(1) 支部及び看護師職能 I 委員との合同会議 2回(10月、3月)</p> <p>① 支部活動の理解と把握及び情報共有</p> <p>② 地区別看護師職能 I 委員長会の課題について意見集約</p> <p>4) 広報活動・会員増加の推進</p> <p>(1) 看護師職能集会(I・II 合同)1回(開催予定日未定)</p> <p>(2) 会報「きらめき」、ホームページによる情報発信</p> <p>5) 日本看護協会との連携</p> <p>(1) 全国看護師職能 I 委員長会議1回</p> <p>(2) 地区別看護師職能 I 委員長会議1回</p>

4 看護師職能委員会Ⅱ

<p>1 活動目標</p>	<p>1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)4職能委員会との連携推進 4)広報活動・会員増加の推進</p>
<p>2 委員会開催</p>	<p>1)職能委員会9回 2)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議（随時）</p>
<p>3 活動内容</p>	<p>1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 (1)介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 ・令和5年度、県内15施設の開催予定(8月～11月) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会の開催（年1回） (2)全国職能委員長会議 2回 (3)地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回 3)3職能4委員会および在宅ケア委員会との連携推進 (1)地域包括ケアシステム構築に向けた連携推進、 ・3職能4委員会および在宅ケア委員会との合同会議 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題について取り 組む（研修会等） (2)看護師職能委員会Ⅰとの連携 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 年1回(R5.7月予定) (2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信</p>

令和5年度 常任委員会活動計画

1 労働環境支援委員会

1 活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会の開催 目的：看護職が健康で安全に働きつづけられるために必要な考え方やその視点および体制づくりについて理解し体制づくりに繋げる</p> <p>(1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会① 対象：中間管理職 内容(2日間)：講義(1.5日)およびGW(0.5日) 講義：いきいきと働きやすい職場づくりをめざすために中間管理職に必要な視点 講師(案)：奥村先生 時期：7月～8月 演習：いきいきと明るい職場づくりを実践するために、中間管理職としての課題の抽出</p> <p>(2)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会② 対象：中間管理職 内容(半日間)：GW(0.5日) 時期：R6.2月頃 演習：いきいきと明るい職場づくりの実践報告</p> <p>(3)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会③：看護管理者 対象：未定 内容(半日間)：未定 時期：9月頃</p> <p>2)セカンドキャリア支援事業 (1)セカンドキャリア支援研修会の開催 目的：定年を前にした人達に、定年後の働き方について情報提供を行うとともに、看護職としての広い視野でセカンドキャリアを考える機会となるよう活躍の場の情報提供を行う 対象：県内の50歳以上の看護職(就業・未就業を問わず) 時期：12月頃 内容：未定 講師：未定</p> <p>(2)「セカンドキャリア人材バンク」の設置 目的：セカンドキャリア世代の看護職が、これまでの経験を活かし本協会が実施する諸事業や市町等の地域活動及び病院施設における諸事業の参画を支援する 方法：「セカンドキャリア人材バンク」の運用</p>

2 看護制度委員会

1 活動目標	<p>1)安定的な質を確保した看護の提供のために、看護専門領域の資格取得者の地域貢献への活動について連携強化を図る。</p> <p>2)准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。</p> <p>3)看護基礎教育の4年制化に向けての取り組みを進める。</p>
2 委員会開催	7回
3 活動内容	<p>1)安定的な質を確保した看護の提供のために、看護専門領域の資格取得者の地域貢献への活動について連携強化を図る。</p> <p>(1)県内における看護専門領域の資格取得者の活動について実態調査を行う。</p> <p>(2)実態調査を元に、看護専門領域の資格取得者が地域貢献活動を行う上での課題等を把握する。</p> <p>2)准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。</p> <p>(1)令和4年度の研修会アンケート結果をもとに、「准看護師スキルアップ研修会」の企画を行う。</p> <p>3)看護師基礎教育4年制化の意義や必要性を浸透させ、実現への機運を高めるための企画・運営を行う。</p>

3 教育委員会

1 活動目標	<p>(1)令和5年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。</p> <p>(2)会員のニーズおよび令和5年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和6年度教育研修を企画・立案する。</p> <p>(3)教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>										
2 委員会開催	10回										
3 活動内容	<p>(1)教育研修会の広報と実施</p> <p>① 看護実践能力養成講習会 31コマ(32日)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 新人研修 2回</td> <td style="width: 50%;">カ 看護実践力(JNAラダー)</td> </tr> <tr> <td>イ 看護研究 2回</td> <td>①ニーズをとらえる力 3回</td> </tr> <tr> <td>ウ 看護管理 5回</td> <td>②ケアする力 7回</td> </tr> <tr> <td>エ 自己教育関連 3回</td> <td>③協働する力 5回</td> </tr> <tr> <td>オ リクエスト枠 1回</td> <td>④意思決定を支える力 4回</td> </tr> </table> <p>(2)研修の評価と次年度研修計画立案</p> <p>①令和5年度の教育研修の運営・評価</p> <p>②令和6年度の教育研修計画の企画・立案</p> <p>③研修がより有意義に、受講者がより参加しやすい形で受講できる研修方法を模索、検討する。</p> <p>(3)関係する委員会との連携</p> <p>常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を、書面にて問い合わせ、結果を考慮し立案する。</p>	ア 新人研修 2回	カ 看護実践力(JNAラダー)	イ 看護研究 2回	①ニーズをとらえる力 3回	ウ 看護管理 5回	②ケアする力 7回	エ 自己教育関連 3回	③協働する力 5回	オ リクエスト枠 1回	④意思決定を支える力 4回
ア 新人研修 2回	カ 看護実践力(JNAラダー)										
イ 看護研究 2回	①ニーズをとらえる力 3回										
ウ 看護管理 5回	②ケアする力 7回										
エ 自己教育関連 3回	③協働する力 5回										
オ リクエスト枠 1回	④意思決定を支える力 4回										

4 学会委員会

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回程度
3 活動内容	1) 第23回山口県看護研究学会の開催 2) 第23回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 3) 山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討 4) 学会開催時期の検討 (参加者アンケートにより意見をとり、開始時期を検討する)

5 認定看護管理者教育運営委員会

1 活動目標	1) カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2) 認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1) 令和5年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R5.4.20～R5.9.9 32日間 2) 令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R5.4.18～R5.5.12 募集定員：70人 3) 令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R5.10.20～R5.12.16 19日間 4) 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルレベル研修修了者フォローアップ 研修支援、評価 研修日：R5.7.6 5) 令和5年度認定看護管理者教育課程サードレベルレベル研修修了者フォローアップ研修 支援、評価 研修日：R6.3初旬 6) ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修過程の教育運営と受講者施設 との連携に関する検討 7) 令和7年度より開始となる新カリキュラム基準についての情報共有

6 広報委員会

1 活動目標	1) 会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実をはかる。 2) 非会員や一般の方に対し、看護協会の認知度を高めるためホームページの充実や、協会の増員につながる広報活動を推進する。 3) 日本看護協会や県内各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 「きらめき」発行を年3回行う。 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号156号、157号、158号)

	<p>(2)実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、印刷会社との打ち合わせ等</p> <p>2) ホームページの充実 ブログの更新</p> <p>3) 県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集と発信</p>
--	--

7 推薦委員会

1 活動目標	<p>1) 役員(外部監事を除く。)の改選に係る候補者の推薦</p> <p>2) 職能委員会委員、常任委員会委員の改選に係る候補者の推薦</p> <p>3) 日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦</p>
2 委員会開催	3回程度
3 活動内容	<p>1) 第1回推薦委員会</p> <p>(1) 推薦委員会の任務について</p> <p>(2) 委員長選出</p> <p>(3) 年間活動スケジュール</p> <p>(4) 各委員会の活動内容</p> <p>2) 第2回推薦委員会</p> <p>(1) 令和6年度役員選挙等日程について</p> <p>(2) 役員等の立候補、選挙権及び兼職について</p> <p>(3) 推薦委員の改選について</p> <p>(4) 職能委員及び常任委員の選任について</p> <p>3) 第3回推薦委員会</p> <p>役員等候補者名簿について</p>

8 医療安全推進委員会

1 活動目標	<p>1) 医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>2) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>3) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p>
2 委員会開催	<p>6回程度</p> <p>(うち1回は圏域代表を招集して開催する)</p>
3 活動内容	<p>1) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価</p> <p>2) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価</p> <p>(1) 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画</p> <p>(2) 現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画</p> <p>3) 県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回)</p> <p>4) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援</p> <p>5) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動</p>

9 災害支援委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 災害支援活動新体制の確立、整備 2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上
2 委員会開催	10回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 委員会活動内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害支援ナース新体系育成研修の内容の検討 (2) 災害支援ナースフォローアップ研修の内容の検討 (3) 山口県総合防災訓練におけるWeb展示・広報の内容の検討と準備 2) 研修開催内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害支援ナース新体系育成研修 基礎編 2日間(オンデマンド研修) (2) 災害支援ナース新体系育成研修 実務編 2日間 (3) 災害支援ナースフォローアップ研修 1日間 2回開催予定 (4) 意見交換会(災害派遣があった場合) 3) その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 山口県総合防災訓練参加 (2) 関係機関、団体との協働、協力

10 在宅ケア推進委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2) 在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	5回程度
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 在宅ケアにおける看護の機能強化に繋げるための取り組み <ul style="list-style-type: none"> (1) 山口県における在宅ケア推進における具体的な課題の抽出と検討 <ul style="list-style-type: none"> ① 職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進事業(後)の各支部における在宅ケアの取り組みの現状把握 ② 現状把握からみえる在宅ケア推進における看護機能の具体的な課題の抽出と検討 ③ 職能委員会、各支部との情報交換等を行う中で、検討結果を基に看護機能強化に向けた取り組みの具体化を図る (2) 看護機能強化に向けた取り組みとして、職能委員会における連携推進に関わる取り組み及び、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業における各支部活動に関する情報共有・情報交換を目的とした会議を開催する(各1回程度) 2) 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 訪問看護育成事業検討会との情報共有 (2) 山口県訪問看護推進協議会への委員およびオブザーバーとしての出席をすることにより情報共有を行う

報告事項3 令和5年度 収支予算書

(別 冊)